京城日報

二十七日夕刊

本紙定價 一箇月金五十錢 … 廣告料 … 發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小川三之介　發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

露國の形勢

▲アレキシーフ大元帥たらん　露都來電に依れば、參謀總長アレキシーフ將軍は多分露國大元帥となるべし又現在軍務に在る大公等は悉く辭職するに至る可し

▲國防委員の成立を見ん　戰線と背後との連鎖として恐く國務大臣數名より成る國防委員の成立を見るに至る可し又廢帝ニコラス及び廢后アレキサンドラの兩陛下等は實際的には止らざるに至る可しと(紐育電報)

◉獨帝神經衰弱に罹る　露京よりの報道に依れば、獨逸皇帝は目下漢堡に於て靜養中なるが今や極度の神經衰弱に罹りつゝありと(紐育電報)

◉獨逸議會の大論戰　獨逸議會に於ては食料品問題に付大議論を戰はし社會黨員は革命を欲すと言明せり(路透電報)

◉汪特使の退京　支那特使汪大燮氏一行は二十七日退京す一行は三十日神戶より乘船大連を經て歸國の筈(東京電報)

◉答禮使人選　支那派遣答禮使の人選に就ては當局に於て目下政治的色彩薄き人物を選擇中なりと(東京電報)

◉關稅引上反對　支那關稅引上に就ては紡績業者は聯合の上支那關稅引上反對を決議せり(東京電報)

◉選擧監査派遣　司法省にては總選擧監査として參事官を各府縣に派遣せり(東京電報)

◉洗沒浮說と處罰　天津行日本郵船武昌丸が洗沒せりとは虛報なると共に昨今軍艦[illegible]等を傳ふる者あり當局者は之等の浮說に對し嚴重處罰す可しと(東京電報)

◉朝鮮無煙創立總會　資本金二百萬圓にて發起せる朝鮮無煙炭礦株式會社は二十六日京都に於て創立總會を開き社長濱岡光哲氏以下役員の選定を了へたり(大阪電報)

◉支那側委員通過　日支鐵道聯絡會議に參列すべき支那交通部參事王景春、同部技師黃[illegible]、京奉[illegible]

告辭

京城醫學專門學校卒業生諸子

諸子研習多年今や所定の課程を卒へ將に出て職に就かむとす、蓋し朝鮮の醫術は未だ進步の域に達せず、有爲の人材を待つこと極めて切なり、諸子須らく之に鑒み能く本校敎養の趣旨を體し誠實懇篤終始渝らず以て其の天職を完ふせんことを期す可し、且つ諸子の業務たるや貴重なる人命に關するを以て常に學術の研究技能の練磨を怠らざるは勿論、人格の修養品位の保持に至りても細密の用意あるを要す

諸子其れ旃を勉めよ

▲平壤高等普通學校　平壤高等普通學校にては二十六日午前十時より同校講堂に於て卒業式を擧行せり總督府よりは關屋學務局長臨席左記長谷川總督の告辭を代讀せり

告辭

平壤高等普通學校卒業生諸子

諸子志を立てゝ本校に入りしより學德の研磨を懈らず茲に本校所定の課程を卒へ各其の志す所に向はむとす寔に賀す可きなり

今や世運日に進みて底止する所を知らず諸子の向ふ所亦之に依りて各〻差ありと雖も孰れも社會の中堅となり忠誠以て國家の隆運に貢するに至りては皆な其の軌を一にせざるべからず、諸子須らく敎育勅語の趣旨を奉體し誠實事に當り勤勉業に服し質素躬行常に衆人の儀表となり以て本校敎養の效果を擧げむことを期す可し

▲平壤女子高等普通學校　平壤女子高等普通學校にては二十六日午後一時より同校講堂に於て卒業式を擧行したり當日は同地出張中の關屋學務局長臨席左記長谷川總督の告辭を代讀したり

告辭

平壤女子高等普通學校卒業生諸子

諸子は多年本校に在りて女子必須の敎育を受け今や所定の課程を卒へて各其の志す所に向はむとす寔に賀す可きなり惟ふに女子の本分は主婦として一家を整理し子女を敎育し以て內助の實を擧ぐるに在り諸子須らく本校敎育の趣旨を遵し言[illegible]を愼み[illegible]一般婦女子の模範たらむことを期す可し

◉總督光州著發　長谷川總督は二十六日午後五時官民約五千名の出迎を受け光州著其儘長官邸に入り宇佐美長官藤波通譯官等は東雲旅館に入れり二十七日朝九時より道廳にて官民外國人等二十九名を接見の後各課に就き其執務狀況を視察し物產陳列場に到りそれより憲兵隊守備隊慈惠醫院郡廳普通學校監獄小學校光州地方法院等を巡察し正午長官々邸に於て官民十五名を招き午餐會を催し午後二時三十分當地出發木浦へ向へり見送人多數なりき(光州特電)

鐵道事務所長フォーレー氏の委員一行は二十六日午後七時發列車にて來釜同八時三十分出港連絡船壹岐丸にて通過東上せり(釜山特電)

◉米國觀光團通過　米國觀光團十七名廿六日午後七時著列車にて來釜同八時卅分出港連絡船壹岐丸にて通過內地へ向ふ(釜山特電)

◉卒業式告辭

▲京城醫學專門學校　京城醫學專門學校にては二十六日午前十時より同校講堂に於て第一回卒業式を擧行せる事は前項記載の如くなるが總督府より高橋總督府附武官の臨席代讀し次で[illegible]總督の告辭如左

◉養正高普卒業式　私立養正高等普通學校にては二十六日午後一時より卒業式を擧行せり總督府よりは弓削學務課長臨席左記宇佐美內務部長官の祝辭を代讀せり

祝辭

私立養正高等普通學校卒業生諸子の志を立てゝ本校に入りしより研習多年今や本校所定の課程を卒へ各其の志す所に向はむとす、寔に賀す可きなり[illegible]諸子が治平の世に[illegible]安んじて學業を修むるを得たる所以のものは[illegible]今後諸子の向ふ所各異なりと雖も實務に從ふと否とに論なく[illegible]社會の中堅となり[illegible]人の儀表を以て自ら任じ[illegible]むことを期す可し

◉定例長官會議　二十六日は定例長官會議日なるより山縣政務總監以下各部長官局長所屬官署の長等は午前十時より總督府第一會議室に參集通常政務に就き協議打合せの上正午散會したり

◉水原農校移管　水原模範場附屬總督府農林學校にては先般新に專門科を設置すると同時に農商工部の所管を離れ他の專門校と同樣內務部の主管に移れり

◉事務分掌變更主旨　今般政務總監部に於て庶務課を廢し新に會計課の設置を見るに至りたるに就き當局は語りて曰く從來庶務課に於て會計人事文書統計等の事務を執行し居りしも元來今迄は庶務課の執務範圍餘りに狹少に過ぎし而已ならず複雜而かも敏捷を必要とする會計事務を專務を以て處理する方便宜にして仕事の分量も多く得らるゝ結果を來すべく從つて文書人事統計等の事務を庶務課に合せしめむとの主旨に外ならず事務分掌上改正の必要又は理由と云ふが如き深き根據より發見せし變更には非ずして寧ろ極めて簡單なる部內の變更に外ならずと

◉秋山大將動靜　平壤に於ける軍隊教育狀況視察中なる秋山朝鮮軍司令官一行は二十八日午後一時平壤出發同夜京城通過大邱に直行すべし[illegible]

◉立花師團長東上期　第十九師團長陸軍中將立花小一郎氏は來月六日より東京に開會さるべき各師團長會議列席のため四月一日龍山發東上すべしと

◉小原長官歸任期　農商工部長官小原新三氏の最近消息に依れば二十七日哈爾賓著二十八日迄滯在二十九日同地發三十日浦鹽著同地視察の上歸任の途に就く旨隨行員より通知あり多分三四日頃歸京す可し

◉關屋局長歸任　平安南道出張中なりし關屋學務局長は二十六日平壤高等普通學校並に同女子高等普通學校卒業式に臨席の上同夜南大門驛著汽車にて歸任す

◉屠獸場の統一　從來京城府にて民間經營に屬する屠獸場は峴底洞、東大門、阿峴里、龍山の四箇所なるが當局にては是等屠獸場統一の必要を感じ之を買收して一大屠獸場を新設する事となり峴底洞屠獸場を卜して過般來著々其增築工事を急ぎ居れるが年度內には竣工の豫定なりと東大門及び龍山屠獸場は已に廢止し阿峴里屠獸場も追て峴底洞へ併合せらるべく竣工の曉には從來の二倍約二百頭を屠殺する事を得べし因に此增築工事總費約一萬二千圓なりと

◉學校組合委員會　學校組合委員會は廿七日も引續き開催されたるが二十八日は午前中委員は學校の增築其他必要の事項に就き實地調査を遂ぐる筈なり因に委員會は尙ほ二三日は引續き開會の豫定にて今般東大門小學校の新設に伴ひ兒童通學區域等に變更を來し可成り父兄側にても問題と爲し居れりと

◉鮮鐵運賃引上　鮮鐵貨物運賃引上の事內地諸新聞に散見しつゝあるが右に付鐵道當局の談を聞くに鮮鐵運賃の引上げは目下研究中に屬し未だ公表の時期に非ざるも要するに之れを全部の貨物に及ぼすものに非ず唯大豆並に豆粕の朝鮮發及び朝鮮通過運賃に若干の變更を來さしめんとするに過ぎず而して此の問題に關し三本理事が鐵道院と打合せのため東上せるやう報ずるは全く虛構にて理事は日支鐵道連絡會議に列席のため出張せるなりと

◉東拓異動發表　所長秘書役の更迭　東洋拓殖會社にては四月一日より下の關出張所新設等のため三月二十七日附左の如く異動を發表したり

殖民課長　村上秀一　下の關出張所長を命す

秘書役　二宮德　事業部殖民課長を命す

參事　清水常吉　秘書役を命す

同時に書記飯泉良三技手馬場惣吉氏外三名を下の關出張所詰としたり

◉東拓の社員遣米　東洋拓殖會社にては殖產事項調査のため技師秋山眞男氏を二十七日附米國に出張を命じたり

◉松平直巳翁　東拓理事子爵松平直平氏の嚴父直巳翁は豫て病氣の所二十六日逝去したりと

◉木村理事歸京　鮮銀理事木村雄次氏は二十七日午後九時南大門驛著列車にて歸任す

◉鴨綠江鐵橋開閉　三月二十四日より鴨綠江解氷に付鐵橋の開閉を開始したりと

◉支那側委員旅程　日支聯絡鐵道會議に出席すべき支那側委員一行の旅行日程左の如し

▲會議日程　四月二日四日五日鐵道院にて

▲旅行日程　三月二十七日北京發[illegible]

◉米觀光團出發　米人觀光團ベヤズリー氏一行十三名は過般入京朝鮮ホテルに投宿中なりしが二十七日午前八時三十分南大門驛發列車にて內地へ向ひたり

◉阪地と朝鮮大豆　大阪に於ける朝鮮產大豆の商況を聞くに下げ相場の主因たりし北部地方の出盛も漸く減じ自然相場も安直より一二十錢引緊りて賣せるが安直を慕へる需用家は高直警戒の姿なれば當地相場は依然變る事なく當用可成商談行はれ居れり概して保合の市況を呈せるが相場左の如し(仁川)

▲釜山川口十一圓二十錢▲[illegible]十一圓三十錢▲[illegible]十一圓四十錢▲白川十一圓四十錢▲水原十一圓三十錢

◉軍司令官檢閱　朝鮮駐剳軍司令官秋山好古將軍は既報の如く二十五日午後三時十分平壤著列車にて野津副官松井參謀を隨へ平壤駐剳部隊第一期檢閱の爲め來壤したり此れより先き平壤驛頭には三十九旅團長高山副官以下聯隊將校鳥山覆審法院長松寺檢事長勅使河原地方法院長關口檢事正[illegible]工藤平南長官篠田第一部長[illegible]平南警務部長本田平壤府尹其他重なる官民及び新聞記者并に先著の立花十九師團長等多數の出迎へあり將軍は出迎者に對し一々叮嚀なる擧手の答禮をなし停車場貴賓室に少憩の上腕車に乘じ旅館柳屋に入りたり二十六日より向三日間七十七聯隊の檢閱を行ひ二十六日午後七時より平壤在任重なる官民有志の歡迎會に立花師團長と共に臨席す(平壤)

◉平壤の軍司令官招宴　平壤官民有志六十餘名は廿六日午後七時より平壤聯隊檢閱の爲め來壤せる秋山軍司令官立花師團長の爲め大同館に於て晩餐會を催したるが席定まるや工藤長官は立ちて簡單に平壤の歷史より平壤の發展せざるべからざる所以を說き將來軍事上何等か朝鮮に施設を要する機會あらば我官民は如何なる犧牲をも惜まざるが故に折角の御指導を乞ふとの挨拶を述べ秋山軍司令官又立ちて平壤は將來發展の機運に向ひつゝあり兵站軍備の充實を謀る上に於て各位の御盡力を乞ふとの懇篤なる挨拶あり次いで鳥山法院長の發意にて秋山軍司令官の健康を祝すべく一同乾盃し餘興等ありて主客十二分の歡を盡し午後十一時過散會せり(平壤)

◉工藤長官の招宴　工藤平南道長官は二十四日午後七時より鎭南浦商工學校開校式に招待したる平南官民有志四十餘名を同地玉屋に招待し晩餐會を催し一同著席するや工藤長官は商工學校設立の趣旨を述べ同校の寄附者中村精七郎氏の義擧を推奬し將來南浦人士の援助を待つとの挨拶を爲し關屋學務局長又立ちて祝辭を述べ西崎商業會議所會頭一同に代りて謝辭を述べたり當夜は近來になき盛宴なりし(鎭南浦)

◉局長長官等歸壤　二十四日鎭南浦商工學校開校式並に卒業式に臨場したる關屋學務局長工藤長官等一行は二十五日午後三時三十分著列車にて歸壤し關屋學務局長は柳屋に投宿せり(平壤)

◉宋子の訴訟提起　南洋拓殖會社設立無效　子爵宋秉畯氏外一名は京橋區[illegible]町五南洋拓殖株式會社を相手取り會社設立無效確認の訴へを廿四日東京地方裁判所へ提起せり同社は大正元年八月中の創立にして初め棉花株式會社と稱し資本金二百萬圓を以て設立されたるも最近前記の如く商號を改めしものなるが總株數四萬株に對し僅に四千二百三十二株の申込ありしのみにて而も拂込金は第一回の五萬二千九百餘圓に過ぎず會社として何等見るべき事業なきは勿論拂込を强要するのみなるは一般の迷惑甚だしとて大株主なる宋秉畯子は遂に本訴を提起したる次第なりと(東京)

◉共和政體可決

露都來電に依れば民主黨國民議會中央委員會に於て共和政體採用の件を可決せり(倫敦電報)

◉獨革命騷動否認

獨逸政府は獨逸國內に於ける革命騷動說を否認せり(紐育電報)

◉獨社會黨の政府痛擊

獨逸社會黨は食糧問題に就き政府の措置を痛擊し露國の政變を歡迎せり(紐育電報)

◉塹壕戰より野戰に　獨軍退却の戰略

獨逸の西部戰線退却は塹壕戰より野戰に移りて聯合軍を擊破せんとする作戰に出でたるものならんとの說あり(紐育電報)

【仁川】▲米檢道直營準備　仁川穀物協會米穀檢査部松元主任は道直營準備に對する當局の諮問に對し回答すべく二十七日京畿道廳に出頭したり▲鮮米商況　鮮米の大阪相場を聞くに例年の通り彼岸前後より正米の實行薄き模樣にて期米の伸び惱めるに伴ひ一般需用家は一層氣迷の姿にて更らに株立ちたる取組も行はれず是が一因として從來精白米の販賣方法が置替の如き形狀なりしを現金取引と改めたるを以て或は感情を害せる有り雲行如何と成行を傍觀せる等にて自然商內高も減少せり斯くて一般が買控へ居れる事故定期米の小釋りを見る時には昨今の尻拔けに頭顋以上の盛況を見るならん相場は馬山改良十三圓七十錢釜山川口十三圓二十錢木浦十一格十三圓八十錢仁川改良十三圓二十錢

【大邱】▲東門市場移轉問題　大邱東城町より兵營に至る新道路は從來の東門市場を貫通せし結果鮮人は兵營道路に沿うて開店し軍隊運行上少なからざる妨害となるを以て府廳は其一部を南山町に移轉せしむべき計畫なるも斯くては從來市場の關係より東門に住居せる鮮人の生活に大影響を來すべきを以て同市場の附近に候補地を提供すべく主張するものあり又市場移轉は時世の進運の然らしむる所なれば局部の衝突より寧ろ全部を南門方面に移轉せしむ可しとの意見を有するものありて目下協議中なりと▲大邱河陽間輕便鐵道工事入札　朝鮮輕便鐵道會社にては廿六日釜山商業會議所に於て大邱河陽間十四哩半輕便線路工事入札の結果九萬五千五百圓にて釜山草梁小原爲氏に落札せり▲迎日水利組合長後任　大塚迎日水利組合長は先程辭任せるを以て其後任として浦項福島伊平氏を選擧し總督の認可を申請中なりしが廿四日附認可されたり

人事消息

▲梶尾新太郎氏(日本興業銀行理事)　二十七日朝入京▲宮田智雄氏(大邱驛長)　二十七日夜入京▲佐々木志賀二氏(忠南第一部長)　同上

逐鹿夜話

▲一昨年の三月二十五日は第十二回總選擧の行はれた日であつた今日頃は愈々當落が決定して靑い顏や赤い顏や泣面や大黑顏の陳列會が全國に行はれた時分だ當時は御大典を祝ふに浮かれて居たので所謂大典景氣で皆大分あつたが名乘を揚げたものは政友會二百十五名同志會二百十名國民黨四十七名中正會五十名其他を合せて六百八十幾人と云ふ大繁昌であつたが選擧の結果は同志會が百五十人政友會が百五人國民黨が二十七人中正會が三十四人であつたサテ來月の總選擧は何うなるのか▲盛岡市の候補者は例に依て原政友會總裁唯一人今度も豫定の通り盛岡市內の有權者の重なる者が推薦狀に連署の上總代を上京させ親しく原君を會見其れを呈出すると白頭翁は承諾の旨を奧書して謹茶一服頂々に總代を歸郷させ顎を撫で廻しながらニヤリ〳〵と悅に入つて居たさうだ▲原君の立候補振りは斯う云ふ有樣で敵味方の候補連を羨ましがらせるが之れでも其の裏面には大分苦心して種も蒔けば資本も卸して居る其處へ行くと正に天下一品とも云ふのは尾の道の橋本太吉君だ其ら威張つたもので推薦も種蒔もあつたものぢやない鎌倉の別莊で寢ころんで居たら何時の間にやら當選して居るのが彼だ斯うなれば本物だ▲東京の競爭は非常に激しくなつて來たらしい其處で大抵の人[illegible]る戶別訪問に閉口し是が[illegible]て或區の如きは『[illegible]の選擧について御來訪の儀は一切御斷申上候有權者同盟會』と書いて一樣に戶口へ貼出してある相なが家內に立ち入る事を禁ずでないからまだよいとは運動屋連中の敗けをしみか

煙の色で燃燒物が分る
京城常備消防隊の色彩鑑別試驗
鑑別に物馴れた消防手の眼

火と水とを相手に働いてゐる消防隊では絶えず火煙の研究を行つてゐるが望樓から市街を

◻一瞬の裡に瞰下してゐる消防手は極めて微かな燃煙でも細心の注意を拂ひ研究的の眼を以て見るのである、二十七日午前中京城常備消防隊南大門詰所で消防主任小熊警部以下消防隊員が火煙の色彩鑑別試驗を行つて見た

◻燃燒物の材料としては生木、中枯木材、腐朽木材、朝鮮建の腐蝕せる古藁、新藁、枯松葉、野生萱及び石炭、石油、揮發油とを蒐め此の材料を順次に消防詰所の廣庭に羅列し一齊に點火して見た、素より燃燒材料としての種類は澤山存るが

◻京城では先づ如上のものを標準として試驗したのであるが燃燒物の量の多寡と燃燒時間の緩急等の關係等に依つて煙の色も自然と異つて來るもので之れを鑑定するのは普通素人では容易の事ではない、併し幾度も火災に出會ひ

◻消防に努めた古い消防手などは遠方から眺めても彼れは何の煙であるといふことを比較的迅速に判斷し鑑定を下してゐる、當日試驗したものに就いて消防組員等の鑑定する所に依れば水氣を含んでゐる生木の煙は一體に燃煙が淡黑色を帶びて燃燒の時間長く

◻腐朽した木材の如きは淡青色を含み燃え方が割合に早い、古ぼけた藁のは軟弱な淡白色の煙で新藁のは淡白に稍青味を帶びてゐる、松葉のも白色で稍油滲みたもので皆になると同樣白煙ながら油強い色彩がない、石炭の煤燃は單に薄黑い粉末のやうなもので、石油になると

◻燃え方も頗る强烈で寧ろ黑い黑瓦斯が飛び昇る而して石炭の煙よりも幾分濃厚で激しい、更に揮發油になると石油よりも一層燃燒力が熾盛であるが上に火の色も强烈で恰かも紅蓮の火焔とも謂ふべきものであらうと言ふ、併し煤煙の量は石油より遙かに尠いが引火の程度は石油よりも敏速である斯うもて一時に

◻數種以上を燃やして試驗して見れば何れも特種の色彩が判然するがイザ實際の火災となれば諸種のものが混同して一時に燃え上るから其の識別も却々容易でない、併し火煙に馴れた消防手などは一見してあれは焚火である是は温突の煙であるといつたやうに即時に鑑別し得るさうであるが要は平素幾多の經驗から自然と視覺神經に反響を得るのであると

◆東宮奈良縣行啓期

東宮殿下には五月上旬奈良縣下に行啓南朝史蹟御見學の事に御治定相成たり(大阪特電)

大連公園の春

◉狂犬病に罹る 平壤竹園町

[illegible]

◉春季清潔日割 京城本町署

管內は四月四日より同十[illegible]
一丁目、本町一、二丁目、南山町一、二丁目、旭町一、二、三丁目、明治町一、二丁目、永樂町一丁目、南大門通一二丁目▲六日永樂町二丁目、若草町、本町三丁目[illegible]

露國皇后の近狀
皇子と共にセロ宮殿に隔離せらる

露國皇后及び皇太子等はツアールスコエ、セロ宮殿に隔離せられ皇子等の病氣は漸次重りつゝあり忠勤なる近從等は前皇帝一族に對し尊敬を以て之に侍き居れり(紐育電報)

飛行機に赤旗を飾つて
＝莫斯科市民の革命歡迎

莫斯科においては市民擧つて革命を歡迎し赤旗にて裝飾したる飛行機空中を飛翔しつゝあるが市中は歡喜溢れり(露都特電)

●セロ宮殿の傍らに ラスプーチンの墳墓發見

ツアルスコエ、セロ宮殿の側らに一墳墓を發見したるが墓中にはラスプーチンの死骸横はり居れり(露都特電)

露國義勇艦の坐礁
サツドル島の附近に於て

露國義勇艦ポルタワ號は二十一日サツドル島附近にて坐礁海水浸入して逆立の狀態となり二十七日日本海事工業會社技師等救助の爲め長崎發上海に向へり(東京特電)

誤つて博士號を授く
目下東京帝國大學にて取調中

東京帝國大學文科にては愛知縣平民秦政次郎氏提出に係る博士論文を教授會にて詮衡の結果學位授與の價値ありと認め其旨文部省に答申せしに二十六日文學博士の稱號を授與されしに就き或は答申書に誤記無かりしかとて目下同大學に於て取調中なり(大阪特電)

畑中から廿五尺の大砲現はる
日淸戰役の際支那兵の埋めしもの

平壤府倉田里玄秉偉(一二)は二十四日平壤府慶上里關帝廟下の畑中にて石を投げて遊び居たるに地下にて怪しき物音聞ゆるより近所の鮮人等に告げ打集りて鍬にて掘り出したるに長さ五尺末口七寸もある大砲の砲身なりければ直に平壤警察署に屆出でたり此大砲について聞くところに依れば日淸の役の當時關帝廟附近は一帶朝鮮の兵營にして戰爭當時は淸兵の居りたるところなるが支那兵は平壤陷落の當時大砲を埋沒して退去したるなりと

京城醫學專門學校卒業式
第一回卒業者四十八名

京城醫學專門學校第一回の卒業式は二十七日午前十時より擧行來賓には

◆總督代理 高橋武官を始め李完用伯、松永道長官、兪猛興官、鹽永博士、弓削學務課長、上田視學官、柴崎中學校長、太田女子高普學校長、古城梅溪氏、セブランス病院長アビソン氏、東大門婦人科病院長スチユーワルド孃等の人々あり猶ほ內地人婦人側には芳賀夫人、持地夫人、久水夫人、久芳夫人等の人々臨席しこれに鮮人側父兄保護者も

◆多數參列したり、斯くて式は君が代の唱歌に始まり芳賀校長の勅語捧讀に次いで證書及び賞狀の授與を行ひたるが專門學校並に助産婦卒業生に對する芳賀校長の訓辭あり、後、長谷川總督の告辭代讀及び李完用伯の祝辭朗讀あり斯くて專門學校卒業生總代としては首席卒業生[illegible]漢盛氏の答辭朗讀あり、猶ほ助産婦科第七回卒業生總代としては許金福孃の答辭朗讀ありて

◆芽出度く式を終りたり。猶ほ醫學專門學校はこれまで第五回の卒業生を出したる總督府醫院附屬醫學講習所の後身にして這回第一回の卒業生として本校を出でたる者は總數四十八名、何れも朝鮮官私立高等普通學校を卒業後入學せる人々にして其の中三分の一は京城並びに地方に於て醫業を開業し他は總督府醫院並びに地方の慈惠醫院助手として實習に就く者なり、猶ほ次席卒業生劉洪鍾(二四)氏は京都帝國大學醫科大學に內科專攻の爲め

◆留學を命ぜられ其の次の優等卒業生金商和氏は東京帝國大學に入學の豫定なりまた卒業生の出身道別は京畿道最も多く次いで平安南北道の順序にして他は皆一道一二名に過ぎずされど目下醫師に乏しき朝鮮に於て年々新らしき卒業生を出しつゝあるは內鮮人の爲何よりも慶賀すべき事なり、猶ほ本年よりは殊に四人の特待生を選び中一名は內地人學生選定せられたるが目下內鮮人學生の

◆混合教育が著々好結果を收めつゝあるは頗る慶賀すべきとなり、また助産婦科は第七回の卒業生三名を出したるが中許金福(一九)朴有甘(一九)兩名は開城の出身にして一名の設樂まき氏は內地人なり

●後任は近松尊定連枝か
六雄管長代理辭職

本派本願寺紛擾に關し管長代理六雄師は二十六日文相と會見の結果辭表を提出し二十七日歸山せり連枝會にては後任に近松尊定連枝を選ぶならん師は河內八尾顯正寺住職にて性謹嚴利井執行長に教育されし人にて光明上人の從弟にして年五十四歲なり(東京特電)

●醫學士厭世自殺を遂ぐ

大阪高醫學士石井幾造(三十)は病氣にて厭世の結果二十五日夜名古屋附近にて轢死を遂げたり(大阪特電)

●南大門停車場で頓死

大邱覆審法院書記笹川慶次郎氏(五一)は頃日來病氣の爲め居住地なる京城旭町に歸宅し療養せんと二十六日午後九時南大門驛著の列車にて下車し妻子の出迎へを受け降車すると共に氣分勝れざる爲め暫時休憩せんと助役室に立入りたるに俄かに卒倒して人事不省に陷りたるより居合はせたる人々は大に驚き即時醫師を迎へて應急手當を加へしも遂に蘇生せず其儘絶命せり診斷の結果心臟痲痺を起したる由なるが屍體は妻女が涙ながらに引取りたりと

金牌受領 髮を黑く長くつやを出し[illegible] として髮の拔けるを防ぐこと 本椿香油

●厭世少年自殺を企つ

京城苑南洞劉泰衡(一八)は二十五日午後一時頃崇一洞經學院の西方草原の中にて苛性曹達を飲ぎて自殺を企て苦悶中を巡回中なる鍾路署の警官が發見し係官警察醫出張應急手當を加へたり同人は昨年十二月中實父に死別し其後義母と二人にて暮し居るも無職無資産のことゝて生活に窮し世を悲觀したる結果自殺を企てし由從兄弟の劉泰英に引渡し總督府醫院に入院加療中なるが生命に異狀なし

●羅南荒しの賊

愛媛縣喜多郡新谷村生れ咸北羅南吉野町居住果物行商河野直安(三三)は前科二犯の曲者なるが本年一月四日同地營星洞津野直方にて高貴織羽織外數點を窃取したるを手初め軍隊の官舍其他八箇所の內地人宅より現金を初め衣類雜品數十點を窃取し尚井本某より衣類二點を騙取したるが贓品は同地美吉町居住廣島縣安藝郡下蒲刈村生れの上田春太郎(二九)が何れも僞名して入質處分したるものにして兩名共羅南憲兵分隊に捕はれ咸興地方法院にて直安は懲役二年春太郎は同二箇月罰金二十圓の判決を受けしを不服とし直安のみは京城覆審法院に控訴せり

●泥棒はモヒ患者

京城苑南洞南瑞翼星源(二七)はモヒ患者にてモヒを購入せんとするも無一物なるより三月十一日夜旭町渡邊某の宅に忍び込み蓄音機の音譜を窃取して質入し又三月七日には太平町二丁目鄭照永にモヒの購入方を依賴し照永が一匁(四圓)を買ひ求めたる際一寸見せ呉れと受取りたる儘逃亡したるが星源は此程鍾路署の手に捕られたり

○曹洞宗別院(若草町) 二十八日午後八時より宗祖忌の法要說教あり

○西本願寺(若草町) 廿七日午後七時半より大谷光瑞師夫人故籌子裏方の十回忌法要修行[illegible]

◉課題及募集規定

[illegible]

募集規程

[illegible]

商況

債券現物特電(東京) 二十七日出來値

東洋拓殖	六三、五〇
京城電氣	六三、〇〇
朝鮮銀行	一七六、〇〇
朝鮮瓦電	一一九、〇〇
南滿鐵道	一三八、五〇

公債直取引(東京) 二十七日出來値

五分利特別	九五、五〇
五分利甲	[illegible]
四分利	八二、二〇
四分利	八一、三〇
五分利	九五、二〇

深川在米特電 二十七日現在高

朝鮮米	二三七、二三八
外國米	八五、〇二六
內地米	一、七二六、三二二

東京期米特電 二十七日前場 五月限

寄付	一六、四五
高値	一六、四五
安値	一六、三六
止め	一六、四四

大阪株式 二十六日後場

銘柄	拂込	二十六日後場	日前場
宇治川水	五〇、〇〇	—	—
京阪電鐵	五〇、〇〇	一七〇、八〇	—
東洋紡績	五〇、〇〇	三三、三〇	—
合同紡績	三五、〇〇	三七、六〇	—
鐘淵紡績	五〇、〇〇	一八五、一〇	—
同上新株	三〇、〇〇	一九三、三〇	—
東洋製糖	五〇、〇〇	一三〇、六〇	—
大阪商船	五〇、〇〇	—	—
日本郵船	五〇、〇〇	—	—
同上新株	三〇、〇〇	—	—
堂島米穀	三五、〇〇	—	—
東京新株	五〇、〇〇	二七七、一〇	—
大阪株式	五〇、〇〇	三三五、三〇	—

大阪三品特電 二十六日後場

三月限	八六、九〇	八六、九〇
四月限	八四、五〇	八四、九〇
五月限	八二、一〇	八二、一〇
六月限	八〇、〇〇	八〇、三〇
七月限	八〇、二〇	八〇、五〇
八月限	八〇、五〇	八〇、七〇

大阪期米特電 二十七日前場

當限寄付	一五、二二
中限寄付	一五、六二
先限寄付	一六、〇二
止め	—

下關期米特電 二十六日前場 雪雨、反賣

	當限	中限	先限
寄付	一四、九二	一五、二〇	一五、四二
止め	一四、九八	一五、一三	一五、四七

雜報

●綿糸高綿布不味

綿絲は前日の一日高に次で本日は十六手五十錢高なりしも綿布は聊か軟味に傾けるの報に接し本日は綿絲の好勢なるに反し之れ現下の相場にては支那印度方面の輸出に不引合なり今日の相場を維持せむ爲めには思惑筋の假需要によるものといふべし此儘先一旦檢出に引合ふ程度にまで引下げるか如何にして實需の喚起を待つか健實となるべきかは市況の觀測多し

●鹽と露領輸出

鹽は銀價と運賃の關係より不廉なるは無論なるも仁川には最近戎克の輸入多く華商の手持頭にあるのみにても二百萬斤に達すべく氣配崩れ前日七十五錢の唱へ七十錢に低落し各市場を通じて約一千萬斤內外の合計になりと謂ふ釜山は依然高値にて原鹽(白)は關東州產の府渡し八十五錢賣品にて三四錢格落の見合になり又再製鹽の製造は炭價暴騰の大打擊を受けたるにも拘らず意外に好都合にて兩地とも例年作業休みの十二月中にも依然製造を續けたるが之等製品は原鹽(主として露領)に輸出され仁川より元山に廻送釜山よりは直接船便にてともに浦鹽送りとなせし物秋以來既に五六千噸に達せしなるべし先方は去年需要多[illegible]

●精米の濫賣

近來內地移出杜絕しつゝある爲め鮮內精米所は漸次[illegible]賣込み市場を亂しつゝあり[illegible]

賣込み市場を亂す **無暗に値安に** **反對にヂリヽ引弛** **見る奇現象** **算外の値安に**

●夏羅紗好氣配

[illegible]鮮內の需用は依然旺盛[illegible]今夏の需用[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 ㊐ 仲買店 電話二八三番

京城正米

▲朝鮮一等白米(常用)十五圓六十錢 ▲同二等白米(常用)十五圓七十八十錢 ▲同 十五圓三十錢 ▲同 十五圓九十錢 ▲同大豆 十一圓六十錢 ▲鐵原大豆 十一圓八十五錢 ▲開城新大豆 十一圓九十錢

京城雜穀

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

釜山穀物(廿六日)

[illegible]

仁川米豆取引所 二十七日の五月限

寄付	十一圓七十八錢	
高値	十一圓八十錢	
安値	十一圓七十三錢	
止め	十一圓八十錢	
出來高	四百石	

靑物だより 釜山食糧品市場(廿六日)

[illegible]

●キツド皮品切

皮革類中昨今キツトは殆ど品切れに瀕し內地皮革商の如き東京より大阪に大阪より東京へ相互入違ひに出張買漁り各自現品の蒐集に狂奔しつゝある模樣なるやに傳へ當地同業も既に在品缺乏の爲先八方注文を發して買入れに腐心しつゝあるも內地の現況斯の如くにして容易に貨物見當らず近々騰くキツト二十打の移入を見る運びとなりしとかに新荷著の

●羅紗の値上

[illegible]

●三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店 仁川海岸町三丁目

付二十錢方を引上げ 一躍一疋に

前約行 羽象 十圓方の値下

●粗布割安賣

四五圓方の下値 會社側 更に幾分の値上 爲

●砂糖麥粉鈍情

多かるべしと[illegible] 今後變動

上向く事

●千瓢氣直模樣

共に最近十四圓五十錢揚

下關相場

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店 海岸町三丁目 電話三〇九番

仁川期米

▲二十七日前場 二十六圓丁度と變ら ▲先電 入電 當中の利食手仕 舞に底固 大阪四節九十 七錢と小安き 自動的に高下 大勢の趣 穩健の歩調

株式會社仁川米豆取引所仲買人 金高田仲買店 仁川海岸町三丁目 電話長一一九 ●定期米賣買案內 ●前金御注文は

府尹の奥様

▽溫和な自然の風土が　子供の教育上に與へる好い影響

鎭南浦府尹夫人中野よし子様のお話

中野鎭南浦府尹夫人を訪問して同夫人の御感想を伺ひたいと存じまして鎭南浦のお宅へお訪ねいたしました、夫人はよし子様と申し極めてしとやかなそして氣のおけぬ方でありましたそして夫人は左のやうにお話しになりました

◻六年目　私は明治四十五年の四月に仁川より當地に參りましたが恰度今年で六年目で御座います鎭南浦は眺望も風景の良いところと仰せられますが殊に私共の官舍が御覧の通り此のやうに高いところにありますので市街も築港も大同江もさては遠く黃海道の山々も一目に見渡すことが出來ますので住宅としては誠に氣持がよろしう御座います又た冬の鎭南浦は平壤よりも暖かでございますので

▽夏は海風を受けて涼しく氣候から申しましても住むのには申し分がありませぬ

夫れから南浦の方には女の方に限りませず一體が溫情に富んで居らるゝとでも申しませうか日常の交際も至つて親切で圓滿なやうに思はれます隨つて御婦人方の間にも些しも面倒な事が御座いませぬ私共は鎭南浦と云ふ土地が人氣のよい土地でありまして私共の家は景色のよい家でありますので子供等も自然溫順な

◻氣風が　養はれて成長するであらうと喜んで居ります又當地は近年著しく發達しまして日用の諸雜貨も容易く需められますし平壤等に比べましては價も廉いやうでありますから私共の生活には最も良いところと思ふて居ります然し私はこのやうに良い土地に住居を致して居りましても常に勤儉貯蓄とでも申しませうか日々の生活上又兒童教育上勤儉と云ふことをしなければならんと思ひまして

▽衣類に致しましても子供の玩具にしましても常に身分相應と云ふ事に注意を致して居るつもりで御座います。と云うて子供などがコセコセするやうになつては困ると思まして常に又心配をして居るので御座います私は成るべく子供に對し締りのあるそしてノンビリとした教育をしたい考へで御座います隨つて下女其他の

◻雇人を　使用する上についても常に心配して居るので御座います又私は朝鮮に來て居りまする子供等は祖父祖母等に會ふ機會が尠いので自然祖先に對する觀念が薄くなるかの様に思はれます、で出來得る限り祖父祖母に遇ふ機會を多く作りたいと思うて居ります又愛國婦人會と外に裁縫料理生花又は宗教上の關係等が幾つもあるやうで御座います

▽會員の方は何れの會でも能く努めて居られますが私は愛國婦人會の方に多少從事致して居ります愛國婦人會は目下三百名位の會員はありますが委員の方は何れも御盡力下さいますので喜んで居ります何分女と云ふものは家庭の人でありますので餘り外出等は好ましきことではなからうと思ひますが會のためそのやうにもまゐりませず又世の中の事を知らねでも困りますので總會とか委員會とかに

◻家庭の　暇を作つて出て行くやうにいたして居ります私は別にこれと云ふ趣味娯樂はありませぬが春から夏にかけて草花の栽培が何よりの樂みといたして居りますこれは私が小兒の時から最も好きであつたので御座います(平壤支局)

學童を見れば停る滿鐵の汽車

朝鮮に住む者は是非滿洲を觀よ

田中平壤高等普通學校長の滿洲觀察談

平壤高等普通學校長田中玄黃氏は十五日間滿洲の學事視察として出張此程歸任したが氏曰く朝鮮に居住してゐるものは是非共

◆滿洲を見る必要　がある滿鐵の經營は恐らく內地に於ても見ることの出來ぬものが多い先づ教育事業の如きも非常に變つてゐる第一滿鐵に乘つて旅行すると最大急行の外は如何なる驛でも學童の姿を見ると停車するそして一人でも二人でも其學童を乘せ

◆學校所在地の驛　まで連れて行くこれ等は明に滿鐵の經營振を遺憾なく發揮して居るものと思はれる關東都督府に於ては工科學堂あり中學校あり女學校あり工業學校もある工科學堂は中學卒業生を入れて教育してゐる其他の學校は高等小學を卒業した生徒若くは中學二年修了生を入れて三箇年の教育をしてゐるのであるが

◆其の教育振りは　形式を避けて實質的である殊に工業學校は大連にあるのであるが中々面白い教室を中央に挾んで左右に實驗室と寄宿舍とを控へてゐるそうして教室即ち自修室自修室即ち教室であるこれらは實驗的の設備だと思ふ最も可笑しいのは生徒の机の抽出に卵が入れてあることで何をするのかと問ふと

◆卵を喰ひつゝ　勉强するのだと云つてゐる(平壤)

◇春の訪れ

このごろの暖かさにモウ街には花賣りの人が出て來ました、花はまだ溫室のものを見るより他はありませんがあの大きなチダの上に紅やむらさきや白や黃色な草花をのせた美くしさ!!水仙のやうな香りとともに白、紅、むらさき色のヒヤシンスの優しさ!!黃いキユーエンシスやプリジヤや白いシネラリヤ紅いベコニヤそれに葵の花も咲き出でました、追々は蝶々も訪ねて來さうなこのごろの春色、先づ溫室の花はこの通り

●阿片煙を種に

滿洲新岩洞無職張大一(四〇)同人夫金成宙(三二)同宿帳場申允洽(二七)の三人は阿片煙を種に詐欺を働かんと先月十五日同洞雜貨商黃周奉仲買業李昌學の二名に向け眞實らしく自分等は阿片八百目餘りを所持し居れるが金に窮したれば至極安價に賣却すると付是非買取られ度しと數回交渉を試み本月五日愈々買取る事となり午後九時頃前記張方にて十匁を一圓十錢にて買取る契約にて黃李の兩名は銭貨一千圓を金成宙に渡し阿片煙の引渡しを待受けたるに三名は何處へともなく消え失せたるより兩名は警察に訴へ出で捜索の結果翌六日張申の二名は新岩洞にて直に逮捕されたるも千圓を受取りたる金成宙は行衛不明なりと

●糊口に窮つて　姉婿を斬殺す

黃海道載寧郡花山面石灘里料理店花月主人濱本仁市(四一)が十七日午前三時頃內縁の妻中西ふさ(二七)の弟某(二三)の爲めに殺害されたる椿事あり被害者仁市は同夜妓女と賭場の溫突に打ち臥し熟睡中前記加害者は何れよりか侵入し來り土工用の鶴嘴にて仁市の頭蓋骨を打ち碎きたる上鎌にて咽喉を掻き斬り即死せしめ逃走したるも間も無く載寧憲兵分隊の手に逮捕されたり兇行の原因を聞くに加害者中西某は昨年の暮頃姉夫婦を賴りて內地より渡來し同居し居りたるが元來不品行者なる爲め仁市も屢々意見を加へたるも聞入れず遂に十日程前追出され三菱鐵山にて鮮人仲間に入りて稼ぎたるも根が懶け者とて其處をも追出され行く處無しの口惜し紛れに此の兇行を演じたるものならんと

●積荷全部流失

▲帆船群山沖で難破　全北群山濱町栗川条藏所有帆船福壽丸(十七噸)に同地福瀬洞船夫洪福植(三〇)外一名が乘組み苗浦港にて粳二百九俵(千四百五圓)を積込み群山に向け航行中三月二十日全北沃溝郡米面竽長島の東北約二浬位の沖合にて俄かに强風浪に襲はれ投錨假泊したるに錨綱を切斷されて吹き流され竽長島に避難中船體難破し積荷は全部流失するに至りたり乘組員は漿浪中を辛くも上陸避難したるが船體の損害四百圓なりと

●六名共謀して　他人の妾を奪ふ

平安南道大同郡全祭面院塲里農李在淑(三七)は妻帶せんものと思ひ同村の朴湯根(四六)厚東洙(三〇)崔根柱(四三)崔泰信(三)李承懿(四六)等に相談せしところ此程平安南道江西郡星台面星一里全永祿長男全奎元妾朴氏(二〇)を見初め妻にせんものと前記五名の者等を依頼し三月九日午後十二時頃棍棒を携帶し全奎元の宅に赴き奎元及び父の永祿を毆打し朴氏を背負ひ李在淑方に連れ來りたるより被害者たる奎元の訴に依り其筋に檢擧せらる

●連絡船乘客輻輳

從來關釜連絡船釜山出港船は高麗、新羅、さくらの大型船を航行せしめ居たりしに過日壹岐丸風波の爲め引返したる以來さくら丸を晝間航行に變更せし結果多數乘船客の輻輳する爲め乘客の迷惑甚だしく苦情百出せる狀態なるが現に廿六日午後出港の際の如きは米國觀光團一行の乘船せる爲め一等室は滿員となり二等室の如きも定員を超過し三等客に至りては數十名の乘船を拒絶せし爲め埠頭混雜を呈せり(釜山特電)

●火災損害數千圓

成北會寧本町通り用達商山縣益次郎方より去る十七日午後九時十分頃發火したるより憲兵分隊にては消防組員を指揮して消防に努め一方守備隊よりは一箇小隊の兵士出動して應援したるも同商店を燒き拂ひたるのみにて幸に延燒なく午後十時三十分鎭火せり原因及び損害は取調べ中なるが損害額は約數千圓に達すべく同地目貫の場所柄とて一時は頗る混雜せり

●馬術春季大會

黃金町五丁目京城馬術練習所にては來る四月三日午後一時より春季大會を催し會員の馬術競技及び餘興ある由にて本日各有志者に案內狀を發せり

●高橋千里眼夫人

千里眼夫人高橋良子は昨年九月より京城に滯在透視、射、實驗を爲し居りしが二十六日一先づ退京岡山に歸還來る六月再來患者の求に應じ施術すべしと

♣地方各學校卒業式

◆平壤高等普通學校　官立平壤高等普通學校にては二十六日午前十時より卒業式を擧行したるが今回の卒業生は師範科三十名本科六十七名なり尙卒業生中學術優等品行方正の廉を以て特別賞狀及び賞品を受けたるもの左の如し

師範科生徒　朴用楫、朴永鐵　本科生　李應吉、金成鉄、朴宣敎

◆平壤高等普通學校卒業式　同學校に於ては二十六日午後一時より同校講堂に於て卒業式を擧行せり今回の卒業生は本科二十七名技藝科十八名なり

◆淸州農業學校　同學校にては二十四日午後一時より同校講堂にて第五回卒業式を擧行したり

◆淸州小學校　淸州公立尋常高等小學校にては二十五日午前九時より講堂に於て第八回卒業證書授與式を擧行したり

◆淸州普通學校　淸州公立普通學校第七回卒業生四十七名に對する卒業證書授與式は二十五日午前十一時より[illegible]外多數來賓の臨席あり同校講堂に於て擧行せり

演藝案內

明治町 電話二六〇 浪花館
○東京大阪落語若手揃大一座來る ▲每夜午後六時開演 演題△浦島(三勝)△羽織女郎買、音曲手踊(新朝)池田猪買(びさご)△女道樂三府浮世節(歌女)△危險術(天明)△音曲噺(右朝)△落語(圓輔)△落語手踊(歌輔)△三十石夢の通路(里鶴)▲大切滑稽喜劇『松竹梅』

京城本町一丁目 早川演藝部直營 有樂館
天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 [illegible]

京城壽町 電話五七八番 壽座
曾我廼家蝶鳥會一行 △來る廿八日より第二回替り狂言
第一、あわて者　二場
第二、恩義　四場
第三、家庭圓滿　二場
第四、僞忠臣藏　大序より七ツ目まで茶屋場まで四十七分にて御覧に入れます
入場料▲一等七十錢▲二等五十錢▲三等三十錢 小供廿錢

櫻井町 電話八七三 大正館
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 ●三月廿三日より提供する特別三大寫眞 [illegible] ○革新史劇『太田道灌』全三卷 [illegible] ○軍事大活劇『第四快漢ロロー』[illegible] ○新派大悲劇『女舞鶴』[illegible]

胃腸最新藥 ヂゲスチン
日本歐米十三ヶ國專賣特許
胃腸疾患、食慾不進、重病後の恢復期、營養補給の目的にて腺の疾患小兒の營養不良等に賞用せらる
常用すれば血液を增し精力を盛んにす
◎說明書送呈
東京本町 藥種問屋 合資會社 圓城商會

大學目藥
「內外各處に賞用せられ効能最も卓越せるは本劑なり」
●定價金十錢廿錢(郵稅二錢)三十錢(郵稅四錢)大瓶五十錢(郵稅八錢)各地藥店に在り
大學目藥は帝國醫科大學醫院の處方に基づきし貴重の製劑にして●はやり目●星目●トラホーム●のぼせ目●疲目其の外眼病一切に能く効能あり▲十歳以下の小兒の爲めに別に小兒用大學目藥あり
登錄商標
大阪北濱二丁目 參天堂藥房

京城本町 學校用品荷揃 シマザキ文具店

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千〇五拾五萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
京城本町二丁目(振替貯金京城一二番)
支配人 西村道彦
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候
明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候

內科 胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七 九二〇九番

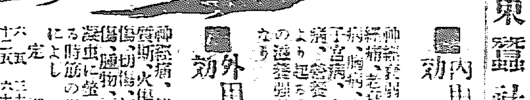
登錄商標 藤澤樟腦

孔ある紙で包むだまゝ御使用遊ばせ效力同じで永く保ちます
是れ需要者本位で出來た本品の特長です
定價 [illegible] 各地藥店小間物店にあり

各種萬年筆即時修繕
京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

移轉御披露
今般業務擴張の爲め左記の處へ移轉仕一層確實に勉强可仕候間不相變御引立の程奉願上候
京城本町二丁目電話九一七番
衣服商 江頭運平商店

朝鮮總督府許可



人參エキス
人參直取引大販賣所
朝鮮名産 滋養藥 人參エキス 人參飴 製造本舖
京城本町一丁目 津村兄弟商會 電話一四八〇番 振替京城三五一一番
京城本町一丁目 津村兄弟商會人參部 電話一八七〇番
支店 京城元町二丁目 龍山支店 京釜線大邱驛前 大邱支店 朝鮮釜山大倉町 釜山支店
其他全道の藥舖にて販賣致居候萬一藥舖に無之御地方の方は直接本舖に御注文次第迅速に發送可仕代金は振替に依る事が最も安全且つ御便利に候 本店支店共市内は御一報次第配達仕候
內用精 効能 神經衰弱、老衰、病後、[illegible]
外用精 効能 [illegible]

◎社員採用
簿記に精通したる者 一名
蠶絲に經驗ある者 數名
但し確實なる身元引受人を要す
右四月開設すべき京城營業所詰として採用致度に付希望の者は[illegible]東蠶社內市川氏宛親展にて御申込被下度候採否は至急回答す
蠶絲移入業 東蠶社

子爵松平直平養父從三位松平直已豫テ病氣ノ處療養不相叶二十六日死去致候ニ付此段御知ラセ申上候
追テ葬儀ハ來ル三十日午後二時途中行列ヲ廢シ谷中齋場ニ於テ佛式ヲ以テ相營可申候
大正六年三月二十七日
親 子爵 松平康民　伯爵 松平直亮　子爵 松平直德
族 子爵 吉田良兼　伯爵 戶田氏共

明君道中記

第九十八席　田邊南龍口演

秀忠公御葬送の儀は天海僧正と金地院崇傳と謹り質素にいたせといふ御遺言に基き、土井大炊頭利勝、松平右衛門大夫正綱、伊丹播磨守の三人が供奉いたして芝増上寺へ御遺骸を葬りましたが、茲に駿府にお在なさる大納言忠長公父君薨去と聞いて大きに驚き早速出府のことを江戸表へ問合せまするを、將軍家よりの御沙汰があつて忠長出府に及ばん、駿府に留り居れといふ返答でございますから強て出府もならず忠長公は無念の涙にくれ『俺は我と家光は幼年の折より不仲でありし故此度のことを差止しに違ひない、例へ此方に如何なる落度あらうとも父の葬送に會するを止むるとは非道ならずや』と悉く怒つて居ります、宜し此の上は將軍が然ういふ心底であらばもう予の家も永くは續かん一層取潰される位ならば兄家光を無きものにしてくれやうと是より内々に家臣を語い謀叛の兆を現はしましたが、それに就て平素眤懇にいたして居る肥後熊本の加藤忠廣の許に密書を贈つて、彼の忠廣と我と同時に事を舉げて兄家光を仆してくれんと仰せあつた時に家老の三宅右衛門が進み出で宅「此は以ての外のことでござる、加藤家へ密書を贈り謀叛を起さんなぞとは恐れ多き事御止り下さる樣、只此の上は身を謹み御家大事と御心懸けあそばせ」と申し上げた時に傍に居つたる沖津河内守進み出で沖「イヤ―三宅氏御意見は御無用。例へ此儘で居つた處が御當家は安泰には立ません、軈て御取潰しに相成るは知れたること、然らば主君のおぼしめし立られたは御最も至極に存じまする、早く加藤家へ密書を遣しに相成る樣」忠長公も思ひ込んだることですから河内守の申すことを取上げた、乃で家臣の鳥山若狹をして彼の密書を持せ肥後熊本加藤忠廣侯の許へ遣はした、鳥山は日ならず熊本へ着いて熊本城内森本儀太夫の許へ願ひ出で右の密書を差し出しましたから儀太夫は此の密書を受取つて早速忠廣侯へ差上げる、忠廣侯は駿河大納言家より參つたる密書何事かと披いて見れば謀叛の企何分にも忠長を助けくれいといふ文意でございますから、此を見て忠廣侯大いに喜び我素より德川家に怨みあり、忠長とは水魚の交りをいたし兄弟の如くに親しみ居る、早速此の熊本に於て旗舉げをいたし忠長と兩旗を以て德川家に當らん、其の使者に參つたる若狹に目通り申し付けイ予が自ら返答いたすであらう」乃で直に鳥山若狹を目通りへ通し承知の趣を申し聞けましたから鳥山は萬事を約して駿府表へ立歸りました、此の事を聞いて家老の山岡道阿彌飯田覺兵衛の兩人が御前へ出て諫めたが一徹短慮の忠廣侯少しも肯き入れませんから、乃で兩人が申し合せて主人を見限つて竊に山岡飯田の兩人は加藤家を立去りました、肥後守忠廣侯は少しも意に介せず此の熊本に籠城して德川の討手を引受け花々しく戰をいたさんと朝夕此の事のみ心懸けて居りました處、端なくも此の謀叛が露見いたしたといふのは、何ういふ譯だといふに加藤の家來に前田源右衛門といふ者がありますが、至つて碁が上手でございまして或日忠廣侯の御前へ出て碁の御相手をいたして居りました處、素より忠廣侯は大名藝と云つて宜くは出來ない忽ち負けてしまつて二度目の時に又々石が立さうもないと見て忠『コリヤ源右衛門其の一石を待つてくれ』源『イヤ決して待つことはなりません』と肯き入れる樣子がない

◎全く防腐劑の入らない
日本醇良酒　廉價　卸小賣
京城新町　電話九一四　田中酒造場

院長　醫學士　森定吉
□□內科　小兒科
京城本町一丁目　瓦斯會社向側
芙蓉醫院　電話二六二三番

贊化病院
京城本町二丁目　電話二四一番
內科　小兒科
入院隨意
無料施療す　毎日五名を限り
醫學博士　古城憲治
醫學士　上野亮藏

三月廿九日九星
四月二月七日庚午
木命一白北定次引
▲一白。引込まれ迷惑の事有日　注意新事見合西方は吉坊島北▲二黒。勞して功なき事有日新事手控萬事は吉▲三碧。[illegible]
周易　介石堂
京城明治町二丁目　岡村介石

新荷著
スイス製　懐中時計　アングル
[illegible]
有には金側ニッケル側其の他各種品有り
本店　京城本町二丁目　電話九七二番
ロンジン　レッツレー商會

時計貴金屬　美術品　裝飾品
本町　糸岐商店　電話三七〇　振替京城一七一

東京日本橋區蠣殼町十八番地　◎東京株式現物問屋
算盤は成功の敵也
茶桐生屋株式店
電話　二一五五・二四一三番
　　　一五五・一〇八〇番
受信略號（トウケイヤ）
發信略號（キリフジヤ）
桐生屋株式店内に東京株式買付成功會を設置し顧客の便宜を計る

◎成金讀本
利殖的
金は權力也然も目下焦眉の問題は利殖方法の研究より急なるはなし此の問題を解決せんとして編纂されしは本書にして富豪學唯一の教科書として實業家も一讀を要する書銀行家なる利殖法を說く安全實券十五枚送れ進呈三錢

□□□□
成功者となる第一の近路は!!
マ利殖の方法を撰擇せよ!!
マ最善の利殖法は何乎!!
マ銀行預金は迂遠である!!
諸君に勸めんとする最善方法は
確實安全なる現株買
誰にも容易に小資本で出來る
先づ此の成金讀本を讀め!!
□□□□

◎富豪たらんとせば讀め!!

▲金儲けの近路は現株買に限る
▲遠隔地の定期は取引危險である
▲現株買は確實安全な實業である
▲定期設資金額で現株を買ひ出來る
▲現株で金入るなは低利で世話する

寫眞
寫眞撮影・寫眞銅版・亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て迅速と可成廉價を旨とし御需に應ず
京城日報社　寫眞製版部

MITSUWA SOAP.

The pure soap, from chemical point of view, should dissolve trasparently in Alcohol with no sediment at all. Not only MITSUWA SOAP fulfills that requirement but it possesses a delicate and refreshing smell. It is absolutely free from all traces of impurities and contains no "free" Alkali. It makes a soft, creamy lather, which cleans the skin thoroughly, nd wears to a last wafer. MITSUWA SOAP gives comfort and satisfaction every moment of its use for toilet, bath, or nursery.

ミツワ石鹼

純正の石鹼は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず、更に『フエノールフタレイン』を以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも、毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりとす。皮脂の分秘量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ず可らず

◎ミツワ石鹼は

化學上の純石鹼たるのみならず、なほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき虞れあるものを用ひず。

一、溫雅の芳香を有す。

一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂憂なし

卽ち、一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に叶ひ、經濟に合する、理想的實用品なり。

現品實寫圖

種類	
大形 家庭用	定價金貳拾錢
中形 常用	定價金拾錢
小形 旅行用	定價金拾錢
極小形 旅館用	定價金五錢

肝油ドロップス　ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橋町四丁目　丸見屋商店　電話長浪花特四三四〇番・四四九八番・四五〇三番　振替東京一七〇番

恩師乃木院長

學習院教授　服部他助新著
子爵小笠原長生序文

四六版四百二十頁　乃木大將肖像（コロタイプ版）著者撮影寫眞版數葉挿入
上製總クロース金文字美本　定價金一圓八十錢　並製金八十五錢　郵稅各八錢

古今東西、忠勇義烈、至誠高潔、愼修篤行、萬人齊しく嘆仰景慕するもの、乃木大將の如きは蓋し稀也。著者は十有餘年學習院に教鞭を執る人、殊に乃木大將院長時代に、寄宿寮監督の重任を帶び親しく大將に眤近して、其の偉大なる思想人格より、寮生監督の職責を全うしたる人也。大將薨後追懷景慕禁する能はず、當時の觀察感想を記載したる日誌を基礎として、圓熟時代に於ける大將の眞面目を縱橫自在に發揮せるもの即ち本書也。通篇十九章五十九節、其の華族子弟の寮舍生活を描寫し、乃木大將を中心とせる感化訓育事業を詳述し、人道の儀表たる大將の人格を發露して些の遺憾なし。實に乃木大將傳中、別種出色に屬する大文字にして、何人も一讀すべき近來の好著也。

青年子弟の德性涵養の頁典範
學校職員育英薰陶の好指針

發行所　東京市京橋區日吉町　振替口座一三一〇〇　民友社
京城太平町　振替三〇〇　京城日報社代理部
新刊發賣　賣捌所

大日本鐵道　寶
京城黄金町長橋町入　電話二九一六番
田村質店
商品擔保便利取扱

僅か一滴百日薰る百花の精の元素香水
今東京で大評判優雅の匂永く保つゲンソ香水一寸先でも薫りで知れる元素香水つけた人こは一般の定評なり全國の商店小間物店にあり
小瓶三十錢　中瓶六十錢　大瓶金一圓　特大金二圓
東京神田和泉橋際松本藥店　振替東京一七九〇七

資本金參百萬圓
明治三十八年　三十五年設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社　漢城銀行
長　男爵　李允用
專務取締役　韓相龍
電話　二六四　六〇
　　　三三九　一八二・二六〇五
支店所在地　水原、平壤、大田、開城
出張所所在地　南大門、鍾路、京幕

內科　小兒科
京城日出小學校前　入院隨意
多々見醫院　電話九四〇番

大日本優等清酒
ハックル

品質純良
衛生無害
攝津灘御影町
醸造元　嘉納合名會社
京城本町二丁目廿番地
發賣元　前田酒店
電話一二三一・四二七番

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）
電話一八番・二六〇番
入院隨意
酒井婦人病院
院長　酒井一郎

第三版

京城日報

三月廿八日（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金二錢五厘　一ケ月金五拾五錢　前金一ケ月分　三ケ月分　六ケ月分
廣告料　▲五號活字　一行金　▲三號活字　▲二號活字
印刷兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　合資會社　京城日報社　京城太平通一丁目
電話　編輯部三〇〇・五四・二二四　營業部・販賣部・廣告部
振替貯金口座京城二〇〇番

朝鮮教育革正論（二）

京城日報

朝鮮と儒教主義

朝鮮には古より統一ある獨立國家の要素を缺きしが如く、獨立固有の學問、獨立固有の文明を缺きしに似たり。左れど、古三韓滅びて第一次の亡國と爲り、高麗、百濟亡びて第二次の亡國と爲り、之を統一せる新羅又亡びて第三次の亡國と爲り、第二高麗王朝の衰滅に由りて第四次の亡國と爲り、李氏朝鮮王朝に至りて第五次の興亡を爲りしに拘らず、其の思想精神を支配したるものは、支那的文明にして、儒教中心主義なりし也。

勿論、上古の韓半島は、遼西に建國したる箕子の朝鮮とは其の歴史的關係を異にし、我が帝國の植民地として開闢以來密邇して離る可からざる關係を有し、我は武力を以て之を統治し、之を保全したるが故に、半島民族は何未だ原有的思想、原有的狀態を失はざりしと雖も、新羅の末葉より李唐の文物制度に眩惑し、高麗より李氏の朝鮮に至りて、益々支那を崇拜し、終に形式的文明の弊に陷り、殆ど固有の思想、固有の特質を一掃し去りて痕跡を留めず、政治風俗敗頽の極、王國をして亡國の域に瀕せしめたり。是れ其の韓國併合の已むべからざるに至りたる主因にあらずや。

儒教は固より亡國の學問にあらず。否韓國をして或る程度まで文明化せしめたるは、儒教の力多きに居るは言ふを俟たず。殊に李朝以來、成均館を文廟の傍に置き、貴族の子弟をして學に就かしめたるが如き、寶文閣を興し、諸臣をして經義を會論せしめたるが如き、世宗の時、集賢殿を再置し、又廣く學者登用の途を開きたるが如き、李朝の文運を啓き、治道に稗補したること、少なからざりしと雖も、其弊は形式的と爲り、虛學的と爲り、之を前にしては、横井小楠が朱子以後の眞儒と稱したる李退溪出づるあり、之を後にしては、家廟を立て朱子を祀り、家禮を作り社倉を設けて感化に努めたる李栗谷ありしも、其弊を救ふこと能はず。一變して黨爭を激成し、東人西人の爭と爲り、南人北人の爭と爲り、老論少論の爭と爲り、李朝中世三百有餘年の歴史が、殆ど黨爭を以て充たされたるは、吾人[illegible]朝鮮史に鑒らせるもの、ム[illegible]に[illegible]能はざる所。朝鮮の[illegible]顚[illegible]る[illegible]は、政治の腐敗にあ[illegible]教の爲にあらずと雖、形式的[illegible]の弊之を助長したるものなしと謂ふ可らず。

禮樂射御書數は、孔門師弟授受の科目にして、孔丘の本旨は堯舜を祖述し、前聖を繼ぎ、來學を開くに在りて、虛學を斥け實學を主とするに拘らず、秦漢以後、魏晋隋唐に亙りて古制を存せず、宋儒の性理學出でしより、實學を忽にして虛學に耽り、明清以來此弊最も太甚しかりし也。而して朝鮮の儒者は皆宋儒の流を汲みしものにして、其學の實用を離れて虛學と爲りしもの、寧ろ深く怪むに足らざる也。

企業熱の聲に對して

白岳生

二　會社令の下に

△朝鮮に企業を口にするほどのものは二言目には會社令を云々することになる。朝鮮に於ける企業熱の傳へられて以來、會社令の事は內地新聞にも數次記載されて居る。會社令は現に存して居る以上、而して最も密接の關係を有する企業熱流行の今日、企業者が第一に考慮を此所に致すのは當然である。但だ吾人は此際會社令の下に朝鮮に於ける事業企畫が果して如何に取扱はれたりしか、取扱はれつゝあるか、將た取扱はれんとしつゝあるかといふことに對して、其眞相を知り正しき了解を得て、企業熱の促進に資したいと思ふのである。

△一言にして盡せば、會社令に對する議論は最早盡きて居ると斷ずるのが最も徹底的である。斯ういつて了へば問題はないが、一體會社令は明治四十三年併合斷行の當時に於て、朝鮮人の法律經濟上の智識經驗極めて乏しく、內地人も亦朝鮮の事情に通ぜず、輕忽に企畫して失敗を招く虞あり、又同一事業に對して同時に數多の企業者が現はれて亂競爭に陷り、此間に朝鮮人などが混入して、權利賣買を以て不正利潤の獲得を企つるといふ樣なことが行はれては直接に堅實なる產業の振興を妨ぐることにもなるといふ樣な理由の下に短時日の間に起案し制令を以て發布し、翌年の一月一日から施行するに決したものだと聞いて居る。一體の經濟政策、產業政策は自然法に依る經濟現象に放任して袖手傍觀することは出來ない。國家は其大方針に從つて制限も干涉も奬勵も指導も保護もせねばならぬ。殊に況んや、特殊の狀態に在る朝鮮に於て、統治上の根本方針から打出して、其創始期に一の制限法を設け、幼稚なる經濟界、產業界の混亂を未然に防止せんとしたのは、當然の政策といひ得ると思ふ。但し人氣問題等の如きは自ら別個の問題に屬するを斷つて置く。

△昨今企業家の間に行はるゝ論點は大膽發布の當時と今日とは時勢の進步同日の論でない。朝鮮人の經濟思想、權利觀念も著しく發達し、同時に內地人の朝鮮に對する智識も進步し、從前の憂としたる所は殆んど其跡を止めない。殊に內地資本家の間に朝鮮投資の人氣漸く引立たんとする此際に於て會社令が種々なる批評を受けた儘に現存して居るのは遺憾であるといふに在る。而して之に對する當局の意嚮は、時勢の進步は認めるけれども、今日直に撤廢は出來兼ねる。然し時勢に鑑みて、運用上には調査取扱共に迅速を期して出來る丈け企業者の便宜を圖るに力め、又適當の時機に於ては部分の改正を行はんとするの意思を有して居るものゝ、大部分の人々の間に解されて居る。

△改正云々に就いては未だ直接に確める機會を得て居らぬけれども、或は確めても確答を得べき筋ではないかも知れぬけれども、既に大正三年十一月に於て府令を以て會社令施行規則を改正し、會社の種類、名稱、本支店の所在地、無限責任社員の變更等は一々許可の形式を經ねばならなかつたものを届出だけに略し、其違反者の體刑を罰金刑に改めた如き前例もあることとて、改正さるゝ樣に察さるゝのも何等か據る所あるものと見て差支なからうと思ふ。それから運用上に當局が意を用ひて居ることは會社令其ものが世の注目を惹くこと深かりしだけに、局外者の想像以上に出たらうといふことも想像される。

△嚮つて吾人は會社令の下に企業出願が如何に取扱はれつゝあるかを知る爲めに、同令發布以來許可處分の經過を檢することは興味ある事柄である。表示すれば下の通りになる。

年次	出願數	許可數	不許可數
四十四年末調	四四	二一	九
四十五年末調	七〇	四四	一二
大正二年末調	三七	三五	一〇
同三年末調	四二	二八	四
同四年末調	五二	二八	四
同五年末調	三〇	一四	無
計	二七五	一七〇	四九

以上の外に朝鮮外に設立したる會社の本店設置を許可したるもの七件、內地會社の支店設置を許可したるもの三十九件、其の不許可二件、外國會社の支店設置を許可したるもの七件がある。上表で出願數と許可不許可數との差は出願を取下げたるものと未處分のものとである。然らば未處分のもの幾件あつたかといへば、大正五年末に於て十四件になつて居つた。從つて取下げたものを算出すれば百七件になる。

△恰も朝鮮入道に鐵條網を張り廻らして企業抑壓に力めたるかの如くに、極端なる批評まで蒙つた會社令も、施行以來六箇年間の經過を洗つて見れば二百七十五の出願に對して、四十九の不許可を宣したるに過ぎないことになつて居る。元來會社令は事を未然に防がんとする趣意で豫防的のものであつたことは知れた話である。然るに發布當時の狀勢は之を驅つて企業抑壓の鐵棒の如く世人をして解せしむるに至つた。此種の解釋は今日まで引續いて居る譯である。營利を以て第一義とする企業家と秩序を要念とする官憲との間に於て、殊に併合後間もない當時に於て、十分なる意思の疏通を缺いたのは、遺憾な[illegible]い事情でもあつた。

△又冷靜なる態度を以て觀る時は當時の時勢に於て誤解も生じ、批評も受くべき筋合そのものの實質は[illegible]に於ても[illegible]の次第なりしとはいふものゝ、[illegible]る。

△然るにも拘らず、昨秋以來、企業熱の發頭に高まる朝鮮企業に對する人氣は、世上の朝鮮企業に對する觀測は、會社令以上に超越して居ると見ることが出來やう。人氣のみならず事實に於て斯くあらんことを祈る。

支那の態度

在東京　一記者

△支那政府は、其友邦の勸誘に依り、獨逸と外交關係を斷絶したれども、未だ起ちて獨逸と戰を開くに至らず、蓋し開戰に先ちて、協商諸國に對し、若干の條件を提出し、其の容れらるゝを待ちて、戰爭に參加する考へなる可く、當局者頗る奔走に忙はしきものゝ如し。

▲支那は、獨逸と戰はざるべからざるや否や、是れ支那自身の決定すべき問題なり、戰爭は商賣にあらず、先づ損益を勘定して、然る後に鐵火の事に從ふべきにあらざるなり、且つ支那政府の要求は、關税率を引上るのみならず、團匪事件賠償金支拂中止、大借款速成、其他支那に不利なる一切の國際條約を改廢するにありて、特に初め關税は、實際上の五分税に引上ぐるといふ要求なりしに、今や戰役中は七分五厘、戰後一割に引上ぐるを基礎として、協商諸國の承諾を求め來れりと云ふ、知らず、戰爭と關税其他の國際問題と、何等の干繫ありや、常識にては判斷する能はざる所なれども、畢竟支那人に獨逸と開戰するだけの熱情なく、只此問題を機會として、國際關係上に自ら利する所あらむとするものに外ならず。

▲且支那政府の、顧眄自ら決する能はざる第一の原因は、北米合衆國が未だ獨逸と戰を開かざるにあり、支那政府が獨逸と國交を斷ちたるは、北米合衆國の勸誘に出でたるは、陰れもなき事實なり、而して其米國は國交を獨逸と斷ちたるだけにて、單に武裝中立を手續するのみにして、進んで戰を開くの意思なきなり、獨り自ら戰を開かざるのみならず、支那の戰爭參加をすら、喜ばざるの色ありと云ふ、支那人の參戰に躊躇する、亦其故なきにあらざるなり、第二の原因は露西亞の革命なり、露國の革命は、皇室及び親獨派が、竊かに獨逸と單獨講和を、行はむとしたるが爲めに起りたりと云へば、新政府は則ち主戰派たり、排獨派たること勿論なりと雖も、此事は端なくも、露西亞には單獨講和を行はむとするものありたるの事實を暴露し、且食物不足其他の窮狀救ふべからざるもののあるを想思せしむるあり、是れ亦支那人をして參戰を躊躇せしむる所以なるべきか。

▲併しながら、大局より之を觀るときは、支那が[illegible]た交戰者として戰爭に參加するとは協商國に取りて、其勝敗の數を加減する事なきなり、協商國は其味方の多きを喜ぶや論なしと雖も、新たなる味方なくとも、本來の協商國だけにて、必勝を期して邁進すべきなり、且此戰役の勝敗は、歐洲中原の戰鬪に依りて定まるべく、區々遠東の得喪は殆ど言ふに足らざるなり、支那にして戰爭に參加するとも、佛蘭西白耳義戰線に其兵を出す能はず、東歐羅巴より、獨墺の急處を衝くことも、亦不可能事なりとせば、英佛諸國の餘り重きを、支那の參戰に置かざるの理由も、亦知り難からず、然るに支那人にして此大勢を知らずして、專ら其代償を要求するに是れ耽らば、吾人は寧ろ其事の、全く失敗に終ることなきかを畏る。

近畿たより

青葭生

○麥酒需要期近づく、工賃原料高騰せるに割引競爭例に依つて激烈ならんとす、各社協定の議遂に纏らず、やがて泥戰狀態に入るべく豫測さる

○阪神間工業勃興につれ大阪より尼ケ崎に至る一帶の地は今や新設工場に埋まらんとす、既設擴張には尼紡、合同紡、東亞セメント、岸本製釘、日本人肥、松岡紡、東レザー、內外綿、日本グリセリン、日本木管、大阪メリヤス、旭硝子、大阪亞鉛、尼崎鐵工、東硝子、新設には毛斯綸紡、安田鐵、キリン麥酒、日本紡、日本綿紡、東洋毛糸、尼崎木管、泉尾綿紡、大阪纖維と指を屈するに暇あらず竣成の後は一大工業地を現出せん

○小楠公討死し、生前歸依の夢想國師その首を得て、嵯峨清凉寺に葬る今の首塚是なり、小楠公崇拜の川崎芳太郎氏之が參詣に便せんため今回同處に一宇の堂を建立すと、其美擧欣羨に價す、尚同氏は京都にて山鹿素行の楠公戰術論寫本を掘出し近く印刷に附し知人に頒つと好き道樂なり

○故高田實の遺什三百餘點大阪美術俱樂部にて四月八九日下見十一日入札に附せらるべし、彼の[illegible]傳來[illegible]記の急須、南蠻切[illegible]花生など名品多しと云ふ、新派全盛時の豪奢偲ばる。

○須磨に老を養へる淨曲界の耆宿攝津大掾八十二歳の高齡にて老衰甚だしく折々昏睡狀態に陷り危篤の由を報ず、淨曲界不振の時代寂寥を感ず

○大阪美術展覽會三越樓上に開催さる、百七十點の出品中審査合格四十點を選出す、五月鯉き閨秀畫家四人の中成園、華羊辛じて合格し千種史子鑑別さる、審査員の後み髮を曳く事[illegible]、派作らの英斷出征軍人の妻子袂別の如きも滑稽なり然かもそれだけ比較的佳作を選出し得しは大阪畫界のため幸慶なりとす

○大阪紳士にして齋世會の如き事業の寄附金を三年四年後の今日尚出し惜しむものありと情なき事なり、一時の虛榮に僞りの讚賛をなし今に至つて逡巡躊躇するとは、大阪紳士の面汚しのみ（三月二十六日）

婦人世界

婦人頭痛

逆境の婦人……新渡戸博士
吳服類の經濟な買ひ方……吉崎夫人
落第を優等生にした實驗……瀧澤校長
仕立屋の見た客のいろく……杉本博士
人の體內に住む害虫……宮島博士
看護婦を頼む時に心得べき事……下田歌子
最後の課業（作物語）
女學校卒業する迄の費用……平田長女
道具を持たして出來る物菜料理（西洋）……櫻井女塾
新しい考へ……おや
子供に聞かせる御噺……大橋
花散る里……小波
▲頭痛の種類と手當……佐野博士
▲貧血から來る頭痛……土田博士
▲耳鼻咽喉から來る頭痛……千葉博士
▲年生の心掛け……相馬博士
食一錢五厘の簡易生活……江原素六
家庭小說　小松島……村井弦齋
松青く波清き海岸の大悲劇
露西亞の婦人……本野外相夫人
越前永平寺の泊り客待遇振り
易は當るか當らぬものか……遠藤博士
四月中の家事……△春晴く京花
子供連れの郊外散歩とお辨當……三輪田夫人、村井夫人、生稻講師
家庭張物の秘傳（寫眞入說明）
竹竿にかけて干す……村井弦齋夫人
シンシ張は經濟便利……岡村氏夫人
商賣人の張り方……井上裁縫師

四月號　定價一冊十七錢　郵稅二錢　東京京橋　實業之日本社

生徒募集廣告
第一學年百名（高等小學卒業以上）
第二學年四十名（高等小學卒業以上）
第三學年若干名（高等小學卒業後一ヶ年以上學修ノモノ）
私立九州高等女學校　福岡市房町
一本校ハ釜瀨新半縱營ニカ、リ明治四十年創立卒業生ヲ出ス事六回三百名生徒定員三百五十名、校舍寄宿舍完成セリ
一通學シ難キ生徒ノ爲メニハ寄宿舍ノ設アリ寄宿舍ハ校長住宅ノ四周ニ設ケ校長夫妻及二名ノ舍監監督ノ下ニ一大家庭ヲ作リ現在百名ノ舍生ヲ收容セリ學資金ハ一ヶ月十一圓以內
一規則書希望ノ方ハ郵券二錢送附ノ事

實業組合と家屋賃借
[illegible]
京城本町

朝鮮語官廳法律講義　受驗必讀
本書は各種官廳の採用試驗に應せんとする人の爲に各法律を簡明に叙述し直に採つて以て實際の試驗に應用し得べき樣講述したるものにして本書の特長とする所は本書中にて準備を得んとする人の爲に必要を說く
定價八十錢　郵稅六錢
賣捌所　京城大平町一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部

觀世喜之先生推讃　▲英雲外先生新著
謠曲と佛教
定價壹圓　郵稅八錢
佛教ノ思想ハ謠曲ヲ組織シ謠曲ハ佛教ヲ說キ其ノ關係ハ[illegible]
發賣所　大阪屋號書店　京城本町　振替京城

京日案內

新龍山同窓會開催
二十九日午後一時より當日會費二十錢持參　龍山同窓會幹事　750

朝鮮語科　三ヶ月修業　新學期
英語科　ABC學より　期　719
南大門通（漢城銀行向ひ）京城青年會

店員入用　直輸出入商に
滿十六歳以上十六歳迄小學校卒業の者五名希望ある十三名
人を要す本人持參來談あれ

はねつき（うちみくじき）
一切の治療御依賴に應ず
明治町　柔術道場　616

京城本町通　廣橋自働車
南大門通一丁目（電話二一九番）金　521組

恩給年金立替
短期無保險　京城黃金町一〇
（金光敬眞手）　電話三三九一番　國江商會　616

陸軍拂下靴下手套
其他各品多數有之御用命願上候
京城府漢江通三三六　佐藤古着店　697

牛血液拂下公告
一、牛血液弍萬參千五百六拾九瓩
此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上
但シ一ヶ年分豫定數量
大正五年六月六日京城府條例第二號ニ依リ入札ニ附ス希望ノ者ハ本府計係ニ就キ委細照合ノ上參月貳拾九日午前十一時限リ同會計係ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充ニ任ス
大正六年三月廿四日
京城府

古本古雜誌類は是非共信用出來る本町ウツボヤ　693

十四歳以上十八歳迄の店員數名募集　但高等小學卒業保證人あるもの　本町二丁目　日韓書房　736

今回當城に付高尙料理店讓渡四十年以上営業の所得有數多望の方は電話二四番へ　725

狂犬病豫防注射所　前の飼犬に施しあれ　京城本町二ノ三　安全賢い愛犬家は速に　742

龍山驛前　獨立軒
急入用
中下働男　見習生　助手　十五歳以上
龍山漢江通　753

御嫁入道具製造
たんす　家具一式
御註文何品にても製造　電話二六七番　京城本町四丁目　津村箪笥店　751

融通月收の御方へ秘密迅速簡易立替御相談同又は御來談　京城大和町三の三二番（前）起木屋　739

聯合國傷病兵救恤寄附者氏名金額（京城日報社取扱）

[illegible]

十二月二十六日迄　累計金五千六百九拾參圓七錢

●舊官僚派長春に遁走

哈爾賓露國裁判所檢事長スリヂコフ氏は舊政府派の人物にて目下の形勢上自己の身邊危しと見て取り廿三日午後九時東淸鐵道列車にて長春に來り大和ホテルに入れり又哈爾賓駐在露國總領事テラウショルド氏(舊政府派)は今回露國革命の結果民政長官警察署長等の讒首せられたるより今度は自己にお鉢の廻り來らんことを豫期し去る二十四日午後九時長春に遁走し來り目下大和ホテルの一室に閉ぢ籠り居れり(長春特電)

●彼我潜航艇擊沈數

歐洲戰開始以來彼我潜航艇の擊沈數約八萬噸に達せり(紐育電報)

●南洋近情

砂糖相場師の獨逸潜航艇出現說捏造

二十七日爪哇より門司に著せる北斗丸事務長の談に曰く本艦は二月十日バタビヤに著せし際獨逸潜航艇政策の發表され航海危險に就き汽船の就航を命せられ之が爲め食料品の缺乏に陷り價格は二倍に騰貴せるに船長は備各自三月分の食糧を貯藏する事を命じたるより恐慌を來したり南洋にては昨年來日本に對する國防策の實行盛んにして這回飛行機多數を購入し盛んに試驗中なりき獨逸潜航艇の出現說は全く砂糖相場師の捏造に依れりと(門司特電)

●浦鹽歸客談

二十七日朝門司に入港せる郵船和歌浦丸船長の談に依れば浦鹽は新政府となりて以來遂に言論の自由を得るに至りし爲め親獨派の舊惡は忌憚無く暴露されつゝあり(門司特電)

●支那興業會社創立

日支兩國實業家の合辨事業として企畫中の支那興業會社創立せられたり(東京電報)

●尾崎男爵卒去

貴族院議員從四位勳四等男爵尾崎太郎氏(五二)は久しく腦患に罹り鎌倉長谷の本邸に靜養中のところ二十五日午後終に卒去せり(東京特電)

●法相北陸視察

松室法相は司法事務並に選擧取締狀況視察の爲北陸各縣巡視の途に上るべし(東京電報)

●汪氏歸國旅程

既報の如く支那特派大使汪大燮氏は二十七日午前多數官民の見送りを受け東京驛發列車にて退京せるが一行は二十八日京都著桃山御陵を參拜し同地に一泊二十九日京都發神戶に一泊の上三十日午前十時同港發の哈爾賓丸にて大連に向ひ歸國の豫定なり(東京特電)

●辭令

二十七日左の如く辭令ありたり(東京特電)

朝鮮駐劄軍々醫部長陸軍一等軍醫正 佐藤恒丸
關東都督府軍醫部長陸軍一等軍醫正 野口詮太郎
任陸軍々醫監(各通)

●浦港財界近狀

禁輸影響少なし

浦鹽最近の財界調査を聞くに一月末より二月に亘り特產の出廻りは一日平均約五十車に上りしを以て此方面に要する資金の需要多少增加せしもハルビンに於て以前より金融を受け居りし貨物多かりし事とて浦鹽の金融市場には格別の影響を與へざりき輸入禁止案は二月に入り愈々實施せられしもコハ既に周知の事實なりし以前より輸入手控へ勝ちなりしため殆んど影響なかりしものゝ如し然り而して從來殆んど杜絕せし奥地への個人貨物の搬出は二月に入り小包を合し一日平均二車位の貨車配給を受け得るに至りし故多少荷動きを見るに至り從つて松田銀行への被仕向手形の拂込まるゝもの亦多少增加せしも之れ亦特筆に値するものなく金融は依然閑散裡に越月せり露國側銀行に於ても昨年六七月頃より新規貸附を見合せ專ら資金の回收に力めしを以て今日に於ては多少整理も附きたるを以て資金の餘裕を生じたるが如し尙ほ西伯利亞商銀支店は露曆一月一日より金利五厘方引下げたりと

●總督木浦到著

二十七日午後二時三十分光州を出發したる長谷川總督一行は沿道各驛にて官民の盛んなる出迎を受け午後五時木浦著驛前には官民有志小學校生徒等多數の出迎へあり總督一行は直に三好旅館に投せり(木浦特電)

●朝鮮の林相(一)

山林課長 田中卯三氏談

江原道製炭事業の將來

江原道製炭事業並に江原京畿兩道の內國有林保護區の視察の爲め過般兩道に出張せし田中山林課長の歸來談に曰く

▲製炭練習所 は江原道臨時恩賜金の授產費を以て山間地方の人民に製炭方法を練習せしめ且つ其の修了者には步燒を爲さしむるものにして華嶽山國有林の一部に對し百五十年輪伐の方法に依り年々十萬貫を製炭せん計畫下に帶狀皆伐及び擇伐の森林作業を營むことゝなり居れり、本事業は經營上目下多少困難の事情あるもの如きも其の經營方法にして多少の改善を見ば收支相償ひ從業者亦た相當の利潤を得るに至る可きは敢へて難事にあらざる可しと思惟せらる、即ち現在の事業地は漢江上流の舟著き場を去る約二里半の山奥にて交通極めて不便なる爲め其の製炭は人脊又は馬背に依りて

▲漸く一二俵 宛を運搬し得るに過ぎず、從つて運賃頗る高價を告げ六貫入一俵に對して約十錢を支拂はざる可からざるの狀況に在り之れ本事業經營難の主因たり、然るに此の通路にして相當開鑿を見るに於ては其の運賃は僅々三四錢に遞減し得可き見込充分なるのみならず、從來製炭材以外は之を遺棄して顧みざりし木材の如きも道路の開鑿と共にまた薪炭材として春川地方に搬出するを得可く、且つナラ、クヌギ等の樹皮に在りても現在放棄されあるもの少からざるを以て

▲赤單寧原料 として之れが利用ゝ途を得るに至らば從業者の利益は更に增大す可し而して一方製炭取引者に在りても現下の如く漢江結氷期の取引を廢し夏期舟楫至便の季に運搬するに至らば運賃の節約僅少ならず相互を利すること益々大なるものあらむ、之れを要するに本製炭事業は其の經營方法其の他に多少の改善を施すに於ては將來收支を償ふて餘りあるに至る可きは勿論從來屑木として除りあるに委しつゝありしも多少なりとも薪炭に苦み居れる京城其の他の都市に供給するを得るや必せり

●清會線全通期

大正七年夏期乎

昨秋淸津より蒼坪迄起業を開始した淸會線は本年十一月頃蒼坪會寧間の營業を開始すべき豫定にて鐵道當局は工事の進捗を企圖しつゝありしが建設材料として最も重要なる橋桁並に軌道の製造を註文しゐたる八幡製鐵所が業務多端のため其の引受割期迄に出來せざる旨通知ありたる事情によりて目下の所にては當初の豫定の如く今秋の全通は到底期し難かるべく而して越年後の事となれば四月の解氷を俟たざれば土工困難なるを以て其の全通は大正七年七八月の交となる模樣なり

●鐵道貨物停滯

三月二十五日夜半調査に依る鐵道貨物停滯數量左記の通りなり

	本州方面	九州方面
釜山驛に在る物	二二〇一	一七二七
〃驛出荷申込の物	一四六五一	七二六五
局線輸送中の物	一五三七	一一〇八
合計	一八三八九	一〇一〇〇

本表の如く約三萬噸を有し前週に比し約千噸を增加せり

●鮮鐵倉庫成績

三月中旬慶山外廿二個所鐵道倉庫營業狀態を聞くに入庫噸數千六百三十五噸出庫噸數二千五百噸にして之を前年度に比較すれば入庫に於て九百八十四噸出庫に於て千九百二十七噸の孰れも增加を示せり

●鮮銀券發行高

三月十八日より二十四日に至る一週間の朝鮮銀行券發行高は三千八百萬零七萬七千圓なり

●平壤記念植樹種

既報平安南道廳主催平壤官民有志合同の四月三日瑞氣山公園に植樹すべき樹種はニセアカシヤ二千五百本カラマツ三百本イテフ二百本エンジユ五百本アカマツ二千本ネグンドカヘデ五百本合計六千本にして司會者は篠田道一部長なりと(平壤)

●栗原教授の來鮮

第三高等學校教授栗原基氏は今回朝鮮學事視察の爲め來鮮する事となり
[illegible]
講演を爲す可しと因に同氏は嘗て廣島高等師範に教鞭を採り現今は第三高等學校に教授となり餘暇を以て「光錄」「耶蘇の人格」其他著譯あり

●派遣所長會議

京城憲兵分隊にては二十四日より三日間管內派遣所長會議を開會し小山田隊長より訓示及び協議等ありたり

●釜山商銀倭館支店

釜山商業銀行は嚢に總督府より設立認可を受けし慶北倭館支店の設置を都合上行はざる事となりたる由

●輸城停車場電信取扱

淸會線輸城停車場に於て四月一日より電信の取扱を開始する事となりしが取扱時間は午前七時より午後七時まで也

●簡易商業卒業式

京城公立簡易商業專修學校にては二十八日午後七時半より第二回卒業證書授與式を擧行する由

●馬山雜信

▲新古兵第一期檢閱 鎭海灣重砲兵大隊にては廿五六兩日間新古兵第一期檢閱を行ひたるが成績何れも良好なりしと▲馬校卒業式 馬山公立尋常高等小學校にては既報の通二十四日卒業及び修業式を執行せしが總員中模範生徒として道長官より表彰されたるは高等二年前田義示同倉島數枝尋常六年吉野榛太郞同五年大崎富美惠の諸子なり▲穀類檢査成績 馬山府に於ける本月上半期間の穀類檢査成績を聞くに本期間の檢査米は百八十五叺にして內三百八十五叺は上格米なりしと而して之を昨年同期に比すれば檢査米數に於て一千五百二十叺の減少なるが前年は氣候溫暖にして下格米の投賣多きに反し本年は寒氣猛烈貯藏に適するより腐敗の憂なく何れも賣急ぎせざる爲めなりと▲竹村判事轉任 釜山地方法院馬山支廳判事竹村昌計氏は今回咸興地方法院に轉補を命ぜられ近々赴任する由▲佐々木長官前田警務部長 本道長官佐々木藤太郞警務部長前田昇兩氏は二十五日道路檢分として來馬し同日海路三千浦に向ひたるが同地より三晉追路を檢分しつゝ歸任の筈なり▲官吏往來 總督府試補田尻生五氏は事務視察の爲め古川要塞司令官は大隊檢閱の爲め橋本鎭州憲兵隊副官篠田中尉南一部長等は事務視察の爲め何れも此程來馬せしが前後して出發せり

支那遍歷(第五信)

中島生

燕京日記(續き)

十三、北京の鮮人

北京滯在中、朝鮮人にして北京に在る者の實狀につき、種々調査も致候處、現在百餘名の在住者あり其の多數は學生なりと云ふ。豫て鮮人の外國に在る者、往々排日的思想を抱く者あり、出所進退は懸念を要するが如くに聞及びたるが、北京にては左樣な者もなく、寧ろ安穩に生活しつゝあり。中には社會に相當の地位を占むる人もあり、官署の高等官に任ぜられ、日支官憲にも信認を得たる人も有之候。但だ是等在北京の鮮人は、均しく日本臣民にてあり乍ら、公使館に其の存在を屆出づる者少なく爲めに我が官憲の之に對する保護も自然周到なる能はず、之れは官憲當路者も甚だ遺憾とせられしが此度韓相龍氏朝鮮より北京に來り、在留鮮人とも接觸して、其の實狀を見、此機會を以て在京我が官民有力者に鮮人中の有力者を紹介せんとて、八日六國飯店(グランドホテル)に午餐會を催したり。當日は出淵一等書記官、坂西大佐、波多野警察署長、三井の兒玉氏、正金の小貫氏等來賓として出席し、朝鮮人側よりは金榮祖、金台錫、金相高の三氏招かれ、韓相龍氏相互を紹介し、午餐の卓を共にせり。此の會合は一小事の如くなれども、其實は在北京鮮人の爲め、最も喜ぶべき會合に有之候。

翌九日の正午には、芳澤代理公使より公使館にて午餐の饗に與かり候。此日招かれたるは一行三人の外、前日ホテルに韓氏が招きたる三名の金氏も併せ招かれたり。公使館よりは出淵、船津、杉村三書記官も出席せられたるが、席上芳澤氏は、官憲として今後將來一層在支鮮人の保護に盡力すべき旨を告げ、公使館にて日本人の會合を催ほす時なぜは、必ず案內すべければ、在留者にして相當の人は成べく進んで公使館に其の存在を明かにせられたき希望を述べられ候。先づは昨日と本日と二回の會合、頗る喜ぶべき事と申すべく候。

十四、黎總統に謁見

九日午前九時半、軍事顧問坂西大佐に伴はれて、總統府を見る事を許され、宿を出づ。府は宮城內中海の畔にありて、門衞嚴重なる間を通りて總統府備付けの人車に乘り、寒風吹き荒ぶ池畔を稍暫し急ぐ程に、愈々總統府の本館に入る。到處劍付銃の兵士物々しく直立し居り。小生等の來るや、彼處に五人此處に十人の衞兵一齊に捧銃の敬禮をなせるには、聊か面喰ひ申候。蓋し總統府は人の容易に入るを許さず、入り來る者は相當禮を表すべき人と思へるならむか。殿堂閣を過ぎ迴廊下を縫て奥に進めば宏壯の建物あり、警衞最も嚴なり是れぞ中華民國大總統の居館なりと知られたり。容を整へて居仁堂に入る。實は此の日午前十時を期して謁見の榮を得る事となりしが爲也。我等四人の跫音輕く絨毯の上に響くよとすれば、直ちに兎ある一室より出で來れる一個の人。誰れぞと考ふる間もなく、豫て肖像にて十分に見覺わある、中華民國大總統黎元洪氏其人が、居仁堂の大廣間にて、我等に接したる也。逞しげに肥滿せる其の體軀溫乎たる容貌の中、眼底胃す可らざる光あり。民國四億の蒼生が衆望を荷ふて最高の地位に在るの人、洵に威儀堂々として四邊を拂ふ。我等大總統と相對して立つ、其間三尺氏は溫顏を以て接し、坂西大佐の通譯にて余等の陳ぶる所の挨拶を仔細に聽取し、一々稽首しつゝ、最後に微笑を與へ、目禮して自室に入られたり。これにて謁見を了り、退出し、中國銀行に向ひ申候。

人事消息

▲田原進氏(忠南道技師)二十七日朝入京笑福へ
▲岩崎虎次郞氏(全州農工銀行支配人)二十七日夜入京不知火へ ▲森脇一氏(光州農銀支配人)二十七日夜入京不知火へ
▲櫻井卯太郞氏(淺野合資會社技師)
▲今村猪氏(同)二十七日朝出京
▲西崎鶴太郞氏(鎭南浦商業會議所會頭)二十八日夜入京浦尾へ投宿の筈
▲堀池常作氏(醫學士)二十七日夜退京
▲和田健雄氏(京都大學教授)同上
▲上田開馬氏(徵兵保險社員)同上
▲矢野助義氏(龍山憲兵分隊長)開城地方出張中の處二十七日午後歸任
▲廣江澤次郞氏 廿六日夜歸京
▲小田田謙氏(京城憲兵分隊長)二十七日楊州郡へ出張三十日歸任の筈

■南言北語■

昨日の榮華も夢と消わて今日は夏宮の奧深く垂れ込め給ふ露國前皇室の御有樣は實に史上の一大悲劇である▲抑も露國前皇后と獨逸との關係は斯う云ふ譯になつて居る▲即ち皇后は獨逸ヘッス大公の妹であるが之が露國皇帝(其當時は皇太子でニコラス大公)に嫁付かぬ前に今の獨帝ウイリヤム二世に自分の妹マーガレット內親王をニコラス大公に嫁せんとしたものだ▲獨帝の事だから外交官に命じて露國皇室の內意を探らした露國皇帝ニコラス一世の皇后は普魯西王女である兩國の皇室には繫る緣がある此緣も結び度いと云ふのであつた▲マーガレット內親王は動作の優美な會話の面白い人であつた當時ニコラス大公は此內親王に氣がある如な噂があつた之れは事實であるかないか分らぬ▲然るに此話が現今の露國皇太后其當時のマリー皇后に傳はると皇后は斷然として反對した皇后は丁抹王女で普魯西は好きでなかつた▲ソンな話のある時は早く皇太子妃を定めねばならぬと云ふので皇后は彼か此かと考へた末ヘッス大公國のアリキス姬に白羽の箭が立つた此姬君は前に露都に來た時謙遜な內に品格のある人として評判が良かつた▲其當時ニコラス大公の從妹に當るサクスブルグ王女がヘッス大公と結婚するので皇太子ニコラス大公は此結婚式に參列する樣にとの命令を受けた▲出發する前に皇太子は若し氣に入つたらヘッス大公の妹に結婚を申し込んでもよいと云ふ許しを父の皇帝から得た▲皇太子はコブルグに往つてアリキス王女と交際する事數日にして悉く意志疏通して從妹の結婚と同時に婚約の發表をするに至つた▲結婚式は其の冬の交際季節に露都で美々しく擧げる筈であつた所が父の皇帝アレキサンダー三世が急に崩御されで結婚式は帝の葬式以後數日にして極めて質素に擧げられた▲其アリキス女王が今度の革命の焦點ともなつた露國皇后で其結婚式を擧た處は革命軍に最初に占領せられた冬宮である

名人本因坊秀哉師謹評(五先打碁)(四十餘局) 和裝函入豪美本 金八十五錢送料六錢

御秘藏碁戰

初學者にも必讀し得る樣名人本因坊秀哉師が斯界の久しく懇切に評釋し名人大家の布陣振りを一讀應用策戰し得る珍書也

京城振替二五七三 大阪屋號 電話四八六・二〇八六番

續刊 三菱膺懲號

フースヒー

立候補宣言

本社長高橋鐵太郞近時政局に痛憤し選擧界郭清の爲に東京府郡部より候補に立ち一切の舊勢力に反抗し權政治撲滅黨弊打破言論機關肅正の爲に萬物を敵とし戰はんとす金錢無く門閥無く政府の保護無き單孤獨立無援の候補者として獅子吼する三百有餘の大文字を揭載す愛國憤慨時の熱血紙面に橫溢

候補者の面影(早速整爾 片岡直溫)

三菱致富記

毎月二回一日十五日發行 定價郵稅共一部五錢 三箇月分卅一錢半年分六十錢 一年一圓二十五錢

東京下谷西黑門町 振替一四五八四番 フースヒー社

新學期に御愛用を祭りたき

日ノ出向鳥印學生帽子

品質優秀にして價格に勝るとの賞讃を博せり

類似商標に御注意の上各地帽子雜貨店にて御購求を希ふ

朝鮮に限り關稅の關係に依り値段改正 A號壹圓拾錢 B號八拾五錢 C號七拾錢

發賣元 東京 吉安商店

小兒齒科 衛生科 齒列矯正科

京城府龍山榮町 龍山齒科醫院 電話五五五番

東京 嚴松堂書店編輯部編

朝鮮六法全書 全壹冊 定價金一圓八十錢 送料金二十二錢

▼印刷鮮明 校正嚴密 ◎內容豐富 ◎製本堅牢 ◎四六版六號三段組 ◎總布上製七百餘頁

朝鮮官民必備寶典 最新刊

本書は朝鮮現行の法令中、重要なる者の全部を網羅し、之を憲法以下產業に至る、十二梯に分類蒐集せる者にして、內地に於て最も完備したる六法全書の全部に朝鮮施行の法令を加へたる者の多きに及ぶ、在朝鮮の官民諸彥は、此一本を備へらるれば、別に內地の六法全書を要せざるなり。

賣捌所 京城ノ本町一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

月十七日內地人女の死體を發見し…る…を里民が發見し急報に接し京城憲兵分隊より係員出張檢視せしが頸…著し其の上に瓦斯綿の袷及び堅縞にて甲斐絹裏のつきたる羽織を著し居るを以て官憲にては夫れを手掛りと…二丁目吉代義郎方に下女奉公中無斷家出して行衞不明となり其の當時百方搜索したるも皆目不明なりしもの…るたりしも同家の米と共に自然浮流するに至りたるものならんと…聞は二十六日關係者が發見して引取りたり

…二時頃辨天町二丁目藥商會員金子悅郎が釜山停車場より金二十一圓八十二錢を受取り新聞紙に包み理…途上にて辨攫へ同署に引致し取調べの結果該犯人は住所不定金在俊と…名せる宜鮮…ろが同人は窃盜前科三犯あり昨年出獄したる者にて猶ほ餘罪ある見込にて取調べ中(釜山)

…金百二十五圓入りの財布一個を何者にか窃取されたるより屆出でに接し大田警察署にて犯人嚴探中隣室に泊りし居たる現金は悉く所持し居りたるより押收の上取調べ中

●電信柱に孔を穿つ啄木鳥

電信に關する東西の珍聞奇談

▼遞信局　通信課長矢野義二郎氏談▲

◇何故孔を明けるのか◇

最近英國の或る地方で電信柱に大きな穴を穿つものがあつた、で郵政當局で之れを調べて見ると

■啄木鳥 に依る被害である事を發見した、これは恐らく電信線が風のためブン〳〵と鳴るのを啄木鳥が聞いて畢竟電柱の內部に虫類が居るのであらうと考へ

■其の嘴 で柱に大きな穴を穿つに至つたものであらうと云ふ、又田舍の人々などは電柱のブン〳〵鳴るのは電信逓信のためだと思つてゐるらしいが、之れは全く風による震動に起るのである

◇四國の傳說と電信◇

四國では弘法大師に就て面白い傳說がある、大師は曾て狐族に命令して曰はれた『汝等は金の橋が出來る迄

■四國に 渡來しては不可ない』と、で狐は此の命令を嚴守した爲めであるか怎うか、從來四國には狐族の棲息を見なかつたのである、然るに近時狐が四國に棲むやうになつたのは全く

■金の橋 が出來た故であらう乃ち狐の解釋では金の橋とは電信電話線の架設ありし事を意味すといつたものらしい、明治の狐族も亦怜悧なものと云はねばならぬ、乃ち狐族は弘法大師によつて四國に入國を禁ぜられたが遞信省の施設で

■其禁を 解かれたものと云つてよい、かのお札博士として有名な米國のスタール博士は先日四國巡禮中右の傳說あるを聞いて頗る興を催したと云ふ

啄木鳥　電柱に孔を穿ちつゝあるところ

◇直通電信で知る經度の差◇

甲乙兩地間の正確な經度を知らうと思ふには直通電信により兩地間に於ける正確な時間を通報し其の

■時差を 計算し以て兩地の經度の差異を知る事が出來る此の方法により米國ワシントンの無線電信局と佛國巴里エッフェル塔上の無線電信局との間に電信により

■兩地に 於ける正確な時間を知り、其の時差によりて確かな經度を知り得たと云ふ、而して其の時差は實に五時間十七分三十六秒六五八であつたとの事である、乃ち時差一時間は經度十五度の差に相當するから直ちに正確な經度を知る事が出來るだらう

◇鳥が飛んだ儘氷結した◇

寒氣酷烈な時季に於ては電池の氷結或は電線切斷のため電信線に障碍を及ぼす事あるは

■何人も 知つてゐる所だが、ある米人があり、其の旅行地に於ける寒氣の酷烈なるを誇大に形容して曰く余の旅行地にては電信電話線の如きは寒氣のため、切斷せる儘地上に落つる事なく空中に止まり又鳥類の如きも

■空中に 飛びたる儘氷結したのを見た……と、乃で或人は夫れを駁し君の言の如きは引力の法則之れを許さゞるを如何せんと、件の米人更に答へて曰く餘りに寒氣酷しき爲め引力の法則も同時に氷結したと云つたさうだ

●南北滿洲視察團に對する日支官民諸賢の協贊(六)

先發準備委員　上田白川

湯崗子の淸遊

視察團一行は四月二十一日午後十時營口發大連に訣別北上の途に就く事となり翌二十二日午前七時三十分大石橋驛にて專用車輛の接續變換同九時三十分湯崗子驛著滿鐵後援の下に林屋某の經營にして輪奐の美を極めたる溫泉ホテル淸林館に投宿する。湯崗子は溫泉を以て有名なる所唐の太宗高句驪親征の際軍兵此地に駐したりと云ふ程にして兎に角此附近に湯河、卅泉堡等の地名あるに徵すれば此溫泉の支那人間に發見せられたのは頗る古い事であらうと思はる。日本人の之れに浴したのは日露戰役の終期に際し鳳凰城から牛莊方面に轉戰した途中兵士等が征塵を洗つたのに始まり又露國が野戰軍を滿洲に進めたる時クロパトキン大將も此地を相して滿洲軍の療養所に充て大規模の溫泉場を經營したもの卽ち今の建築物である

淸遊旅塵を洗ふ

溫泉ホテルは驛の東北四町弱西北は開けて平野廣く東北に遠く千山の連峰を望み四時の眺望最も雄大なる地點を占め近時に至りて家屋を增築し或は電燈を點じ或は浴室を新築し或は溫室を設けて四時花卉類を爭ふ等其設備萬般內地の溫泉場に比し寧ろ反つて優れるものあり浴客次第に增加し殊に西伯利亞地方よりの外客歲々多きを加へ且つ千山探勝の客多くは此地に下車するを以て益々繁榮に赴きつゝあるの情態にある。我視察團は約一週日奉天、大連、營口、旅順等の視察見學に忙殺され多少旅行の疲憊を覺ゆるの時約一晝夜形勝の湯崗子に淸遊溫泉に連日の旅塵を洗ふは決して單に遊覽のみの從事にもあらざる可し

哈爾賓行

悠々自適湯崗子溫泉場に一日の淸遊を恣にしたる視察團は四月二十三日午前三時五分湯崗子驛發の急行列車にて北上哈爾賓を指すのである。平野直行奉天鐵嶺を通過し浩漠たる平野を縱斷して列車は同日午後二時三十五分長春著更らに湯崗子驛發の勇ましい同驛乘替午後三時四十五分發列車にて始めて東淸鐵道線を走りつゝ同夜午後十一時五十分を以て愈々露國人の經營に成る北滿の大都哈爾賓の地を踏む事となる。

團員注意事項

滿鐵線を離れ東淸線に入ると同時に旅客の最も注意す可き事項三四を左に御披露して置く

一、哈爾賓は素より東淸沿線は總べて露貨を以て通用す故に主催者は團員諸君の必要とする豫算の金額を露紙幣に兌換せしめ朝鮮銀行哈爾賓支店に於て兩替の勞を執る事とせり

一、日本時間と滿洲時間とは一時間の差あるが滿洲と哈爾賓とは又二十三分間の差あり長春を離るゝと同時に二十三分を進ませ哈爾賓時刻に訂正す可し

一、東淸鐵道には食堂車なき故豫め辨當の準備は怠りなく途中一驛に食堂ありて十四分間の停車中に一品料理を調製す

一、各驛に於ける出發は鐘を以て之を報ず一鐘は警鐘二鐘は出發用意三鐘は發車なるを以て第二鐘を聞けば直ちに乘車するを要す

一、車中と車外とを問はず露國の撮影寫生手帳等記地圖披見等は能く注意し苟も軍事探偵の嫌疑を蒙るが如き行動ある可らず

規定の時間二十三日午後十一時五十分哈爾賓驛著團員は直ちに東洋館始め四軒の旅館に分宿する

●巡查の妻、火災を防がんとして無慘なる最後を遂ぐ

平壤警察署新倉洞派出所勤務小原巡查は平壤南門町八十一番地に居住し宅には妻ふく子(四〇)次男猛一(一三)三男圭助(一〇)長女美留子(四)の四人暮しなるが廿四日小原巡查は出勤し午後九時頃次男の猛一圭助等は溫突の中にて讀書中天井より吊下たる洋燈の餘りに高き爲めふく子は子を思ふ親心より明るくしてやらんものとて

▲洋燈の自在鈎 を外したる刹那洋燈は下り過ぎて机上に打つ附かり忽ち破れて机上は勿論溫突內は一面の火の海となりたれば二男猛一と共に消火に從事したるも既に遲く溫突內に寢かせありし美留子の身邊まで燃え擴がり美留子の頭髮を燒きたるより二男猛一は美留子を抱いて外に避難し美留子一人にて室內の火を消止めたるが是が爲めふく子は

▲下半身に石油 を浴び大火傷を負ひ猛一は燃上る母の衣服を引裂き帶を引解き漸く燒死を免れしめたるもふく子は其場に卒倒したり此時近隣の者馳せ來りて火を消し止め急を小原巡查に報じ同夜直に慈惠病院に入院せしめしも不幸にして廿五日午後九時遂に絕命せり

●郵船株が暴落した

‖淡路丸の沈沒說から‖

二十六日午前日本郵船會社北支那航路船淡路丸が二十五日夜玄界洋航行中沈沒したりとの新聞號外を發したるものあり之が爲同會社株は五圓方暴落したるが郵船本社其他に於て取調べたるに何等信憑す可き處無く右は全く何者か爲めにする處ありて捏造したるものゝ如し(東京特電)

●朝は三時に必らず起きた

逝ける直巳翁

‖近來迄足袋を穿かなかつた‖

子爵松平東拓理事の嚴父直巳翁は二十六日長逝したが翁の生活に付親近せる某氏の談を聞くに直巳翁は天保三年の出生で本年

■八十六歲の高齡 である、舊雲州廣瀨三萬石の藩主で從三位を忝くし、吾が華冑界の長老であつた、翁は九十近く迄長命した丈け其の平常の生活法も不用意の內に健康に協ふ起居をしてゐた、一二の例を語ると翁は何十年一日の如く夜は十時に就床し早曉三時必らず床を出で決して女中を起さず自ら床をあげて室內を淸掃し而して

■一應戶外の散步 をやり、以て歸來初めて召使ひを起してゐた、如何に早起の人であつたかと知れる、又翁は近年迄決して足袋を穿かなかつた、而して肉は絕對に喰はず茶をのます、洗面するのに湯を用ゐず、酒も煙草も嗜まず物質慾には極めて淡かつた、其の食物は魚類と野菜で然も大食せず、飯が少し固ければ熱湯を浴せてこれをやはめてゐたかうした風だから居常

■驚ろく程頑健 で曾て醫師にかゝらない、老後子爵等が診脈等のため醫師をすゝめても生死は全く運命だからと容易にうんと云はね、何回も押してすゝめると漸く義理に國手を聘したが、藥はどうしてものまねと云ふ風だつた然し今回は無論診察の盛りを盡された事と思ふ、翁は上述の如く物慾には遠ざかつてゐたが、深く佛に歸依して無上の悅樂を茲に求めてゐた云々

◇助産婦卒業生

廿七日午前十時から總督府醫院內醫學專門學校講堂で行はれた助產婦第十一回卒業生は都合三名其の中一名は內地人設樂さき(二一)さんで二名は鮮人少女であつた、既に優等生として賞狀を貰つた許金爵さん(一九)は流暢な日本語で答辭を讀み來賓一同を驚かした、また次席の朴有廿さん(一八)もよく出來、共に二年半の看護婦修業を了へた人、これから一年間の義務年限を濟すまで病院で働きますとのこと、來賓の芳賀院長夫人、持地夫人、久水夫人、久芳夫人などもかゝるよい事をほめて行かれた寫眞の向つて右より設樂さき、許金爵、朴有廿

●六雄管長代理辭職顚末

本派本願寺の紛擾問題に就き文部大臣の召喚に依り二十五日夜新執行長代理六雄澤慶師は上京したる同派管長代理六雄澤慶師は二十六日午後永田町なる文相官邸に赴き岡田文相柴田宗教局長及び本問題の爲め上京中なる木內京都府知事の兩名立會の下に會見し六雄師は四名の特選會衆を交迭せしめたる理由及び執行後任の件に就き仔細陳述する處ありたる末老軀事に不耐との理由の下に辭表を提出せり(東京特電)

●渡船の二階墜ちて即死者を出す

大阪鐵工所の渡船天保山より櫻島に渡る際渡船の二階俄かに墜ち即死者一名、重輕傷者三十餘名を出せり(大阪特電)

●長春地方の暖氣

長春地方は暖氣頓に加はり二十七日の氣溫最高攝氏四度四分最低同零下六度五分を示せり(長春特電)

●狂犬續々現はる

京城明治町二丁目原賀某の飼犬は二十三日同町大山、山田、大塒、松本等四戶の飼犬を咬傷し尙外四頭の犬を咬みたるより獸醫診斷の結果狂犬と判明し即日撲殺せり又本町二丁目鴫田某の飼犬も二十四日狂犬と確定したるを以て是又撲殺せり

●春季弓術競技會

(京城俱樂部)京城俱樂部にては四月三日神武天皇祭の佳節をトし午前十時より若草町京城俱樂部に弓術大競技會を催す會費金一圓にて一般有志の出場を歡迎する由希望者は三十日までに總督府總務課香山馬まで申込む可しと

●中學校の數學講演

京都帝國大學助教授和田健雄氏の數學講演は卅七日午後二時より同三時半迄京城中學校內に於て試みられたるが府內各學校の教師を始め工業專門學校中學校卒業生等多數聽講せり

●朝鮮藥學講習所

府內長橋通り私立長藥學校內に設けられたる朝鮮藥學講習所にては過回第三回の卒業生を出したるが來る四月一日より新學期開始一般入學志望者を募集しつゝあり、講習所は昨秋より實施せられたる朝鮮藥劑師試驗の受驗準備教育並びに一般藥學の智識を得んとする者の爲めに夜間を利用して講習するものにして總督府醫院吉木藥劑官並びに總監部兒玉藥劑官を顧問とし講師には民間の藥劑官及び總督府醫院、總監部の藥劑官數名あり從來卒業したる內鮮人中には藥業免許狀を受けたるもの十數名ありと

●大角主計正夫人

(軍司令部臨時建築科長)大角主計正夫人は鼻面病氣のため總督府醫院に入院中なりしが二十七日朝逝去せりと

●連絡船の船繰

三月分關釜連絡船釜山發著日割中一部左の通り變更せり

	午前發	午後發	午前發	午後發
▲廿七日	對馬	新羅	新羅	さくら
▲廿八日	さくら	壹岐	壹岐	對馬
▲廿九日	對馬	新羅	新羅	さくら
▲卅日	さくら	壹岐	壹岐	對馬
▲卅一日	對馬	新羅	新羅	さくら

■壽座　(松島會館撥家)蜂々一座にて開演したるが初日より景氣よし二十八日夜より第二回替り狂言として撥で者二場、忠義四場、家庭劇喜劇一場、忠臣藏にて右の內忠臣藏は大序より七段目までを四十七分に演ずる由

■浪花館　東京大阪合併一座にて開演中なるが二三日より危險眼力術と稱し瞼にて十貫目以上の物體を持ち上ぐる不思議な術を有する天明成光を加へ右の外劍舞等を演ぜしめ居れるが連夜大入を占しつゝあり

四月一日より五日まで
春衣大賣出し
三月廿八日より
新柄帶地
階上に陳列致し置き候間御隨意に御撰擇下され度奉希上候
京城本町
三中井吳服店
電話三七番
振替口座五二四番

京城代理店
日本徵兵生存保險株式會社
本社　東京市日本橋區元大工町十番地
社長　門野幾之進
京城本町二丁目
釘本藤次郎本店
電話保險部壹貳八參番
零歲より無診察にて入れる事の出來る坊ちやん嬢ちやん方のお目出度保險
◎有給社員招聘
本社は契約者へ三年後は年々利益の配當を致しますから會社の好況に連れて契約者は意外の利益を得られます
希望者は履歷書携帶の上至急左記の處へ御來訪あれ但し面會時間は午後七時より
南山町三丁目　有隣館にて　島田

堀內新泉先生新著
當世百道樂
◎著者獨特の警句奇觀犀利の筆現代の道樂を解剖し或は大に奬め大に戒め大に遊び大に笑ひ大に自省せしむる大文字深く強く現代を諷刺し猛覺せしむる近來稀有の快著也
(內容の大略)
▲香高背量道樂●女道樂▲カフエー道樂●借金道樂▲貯金道樂●謳道樂▲芝居道樂●中口道樂▲大事道樂●相撲道樂▲女中道樂●立喰道樂▲鉄獄道樂●茶道樂▲浪花節道樂等の百道樂
四六判美裝送料金八錢 布裝一圓卅錢
京城日報社代理部
賣捌所　京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番

京城 [illegible] 本店

ロックフエラー研究所所理部長(米國)醫學博士理學博士野口英世氏發見
梅毒有無診斷藥
梅毒の疑 を有し煩悶せらるゝ方は醫師に就てルエチンの注射を乞へ!
有無直に判明せん
ルエチンは弊社がロックフエラー研究所の特許を得て製造發賣せる最も理想的なる梅毒診斷藥にして僅少なる費用と簡易なる注射によりて潜伏、遺傳、第三期等の梅毒を確實に診斷して其有無を決定すされば梅毒感染等の疑ひを抱き憂慮せらるゝ方は直に醫師に就て本品の注射を乞ひ其有無を確め早期治療の方法を講ぜらるべし

定價		
一瓶	〇・二〇錢(二人分)	一瓶 金四拾錢
二瓶	〇・五〇錢(五人分)	一瓶 参圓
三瓶	一・〇〇錢(十人分)	一瓶 六圓

ルエチン
醫家及藥業家諸君に急告!!
弊社は今般細菌部を新設前記ルエチン及各種ワクシンを發賣せると共に傳染病研究所の血清類の特約販賣を開始せり
■ルエチンは野口博士の下に研究せる赤津ドクトル製造を擔任す
■ワクシンは英國ライト博士の下にて多年研究を積みたる阪上ドクトル擔任して最新鮮有効なるものを供給す
治菌ワクシン　丹毒菌ワクシン
化膿球菌ワクシン　連鎖球菌ワクシン
肺炎　窒扶斯　パラチフス診斷液
虎列刺豫防液　其他肝計一般種を製出
説明書あり申込次第送呈す
東京京橋區南傳馬町三
電話京橋一七八五
振替東京二〇五三
株式會社　星製藥　細菌部
關西代理店
大阪東區道修町三丁目
小西喜兵衞
電話本局九五一
振替大阪三一〇

龍山元町一丁目中央
電話二五八番
醫學博士　イツキ內科病院
入院隨意
齊藤勇

怒濤の月

百十九 小林蹴月作 武内桂舟畫

闇の川風『廿二』の四

鮨亭に陣取た幸三郎を村山の兩人は、衛生精神一掃と云ふ名目の下に、一人の藝妓を相手にして、盛んに飲み、盛んに氣焰を吐き盡した揚句が、即ち以上の如き爲體をさらけ出した譯なのであつたが、飽まで酒に負けた例のない村山は、到頭泥醉に近い幸三郎の醉雪を押宥め、漸くに扶けつゝ八百松の門を外に踏いだのは、恰も寒き向島の夜も漸く更けて、長命寺の鐘九時を告げ渡る頃であつた。きや〳〵と肌を刺す川風の冷たさに、白髭の附近まで來た頃には、幸三郎も稍醉ひの度が薄らぎかけたのであらう、よろめく脚下を故意とらしくも踏み堪へて、

『村山君、もう大丈夫です。此の分なら獨りで歩けさうだから、手を放して呉れ給へ』

『はゝは、御本人が大丈夫と云ふなら、是ほど確かな事はないね。好いかね君、倖では反つて、身體が揺めてゐるからうと思つたので、故意に歩き出した譯なんぢやが、吾妻橋まで辛抱したらば、電車に乘らうよ。何にせよ、此の川風ぢや、頬桁の皮を剝かれるやうぢやね』

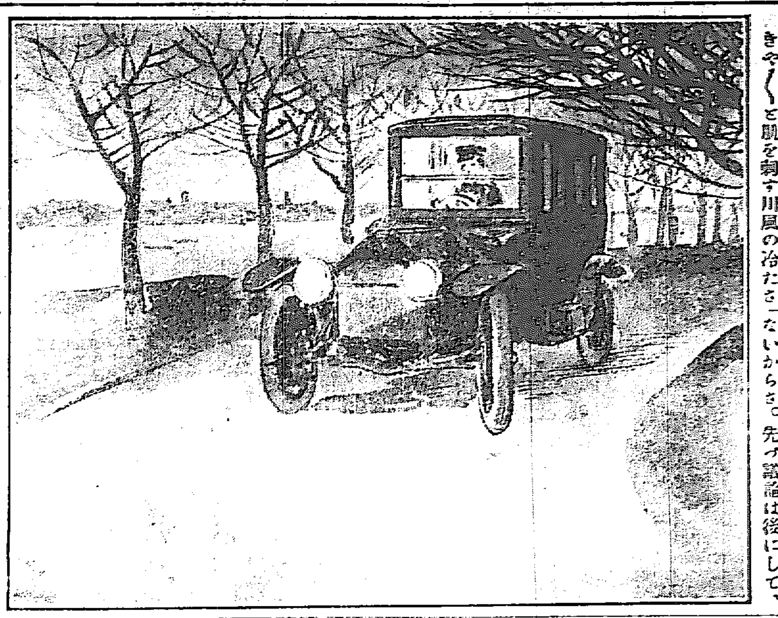
『醉拂つて居てさへ此の位冷たいんだから、素面の時なら、凍ね死ぬかも知れない』

『是が所謂筑波颪と云ふ奴ぢやよ。併し、闇の夜の川面に船の灯がちら〳〵と搖きながら映つてるなどは、醉雪君の前ぢやが、日本畫の領分ぢやないね』

『なアに、日本畫だつて、描いて描き表はせんと云ふ事はないさ。村山君は、動もすると、日本畫を酷く侮辱する癖があつて困る』

『然うぢやないけれども、吾輩の見た所ぢや日本畫と云ふ奴は、什うも深味に乏しいやうな感じが爲て不可て』

『そりやまだ眞の日本畫を見た事がないからさ。先づ議論は後にして、僕の今年出さうと思つとる日本畫を一見してから、何とでも批評して貰ひたいもんですね』と、氣焰頗る文である。



『いや、恐れ入つた。君は不思議に今夜の八百松以來元氣が強くなつて來て、吾輩のお株を奪ひ取りさうな勢ひぢやが、何でも關はん、その抱負で、思ひ切つた傑作を出品すべしおやよ』

『無論です、村山君、僕の畫には、必ず二人の清淨高潔なる女の魂が宿つとるんですから……』

本人は餘程確かな了簡で歩いて居るらしいが、折々櫻樹の根ッ子や、埋立ての杭に躓いて、打倒れさうになる事が再三であつた。

『ビッこい、危いね君は……矢張吾輩の肩に吊ざつて歩く方が無事ぢやよ。何ぼ清淨高潔なる女の魂が宿つてるか知らんが、土手から轉げ墜ちた日には、君、土左衛門と變名せにやならんぜ』

友思ひの村山は、無理に幸三郎の手を把つて蟹のやうに扶けながら歩からとするのであつたが、醉漢の常として一向にそれを肯き入れない。反つて村山の手を拂ひ除けるやうに爲て、ふら〳〵と先へ歩き出すかと思ふと、又五歩も十歩も遅れて、佇細ありさうに闇の川面を見渡しなど爲て居る。

『おい、醉雪君、歩かにや不可よ君。そんなに愚圖々々しとるなら、吾輩は一人で竹屋の渡船で向河岸へ行つて了ふぞ』

『まあ〳〵、然う怒らんで呉れ給へよ。僕だつてまだ老母のある身なんだから、向島で迷兒になつたとあつては老母が心配しますよ』

相前後しながら、二人は今し漸く櫻餅で名高い言問の邊から、S字形にくねつた土手上を曲りかけたのである。と、突然に背後の方からプブーと凄まじいライオンの如き叫びを立てつゝ、驀地に驅せ來る一臺の自動車があつた。

『危いッ！倉松君、早く此方へ避んと轢き倒されるぞッ』

村山は、敏捷く左手へ道を避けながら、幸三郎に注意を與へた。

『なに、關ふもんか。必定花泉男爵の自動車に違ひないなら、中の面を見てやろんだ』と、幸三郎は、負惜み強くも、故意と土手の眞中に大手を擴げて、轢くなら轢けとやうに立ち塞がつたのである。その間や遅く矢の如き自動車は迅くも風を切つて幸三郎の眼前五六歩の所まで來しかいつた。

『危いッ、早く倉松君……』

村山が斯う叫びながら、幸三郎の袂に手を掛けて、引摺り寄せやうとした時には既う、流石機敏なる運轉手も、車輪を歯止めする暇なくして、無惨！幸三郎を乾びきつた大地に引倒した。

密書を携へ捕虜となりて 露國冬宮の皇后に致す

露國より歸國の途朝鮮を通過したる横濱生絲商館露都支店長原修三氏は露都の革命動亂眞因に就いて新しい話を齎らした其の談に依ると露國皇后の實弟郎ち

◇獨帝の甥が最近 負傷して露軍に捕虜となつた處が皇后は之を聞いて直に冬宮に召し寄せた。之は當初から獨帝に魂膽があつて、態と負傷せしめた上捕虜とならしめたもので、冬宮に召さるゝと同時に獨帝の密書を皇后に致したと云ひ又皇后が單獨講和の協議を爲す爲めに召し寄せたと云ふ七りこ兒がパッと說つて

◇動亂の機運を早めたもの である客月二十七日大學生三十名が赤旗を手に手に翳して示威運動を行つたのを騎馬巡査や其の他で制止した事から盛な機運は動いて其夜は自宅にある將校の非常召集を行つて萬一に備へたが動亂が勃發するに至らなかつた、併し機運の益々熟して居た事は勿論である。一方モスコーでは食糧と薪木の

◇大缺乏を來して 全市殆んど瀕死の狀態にあつたので之を田舍から供給する爲にモスコーに通じてある六線の客車の運轉を中止して食糧及び燃料積載貨車の運轉に充てたが貨車の運轉まで給の不備の爲め遂に貨車の運轉も止まつて二週間乃至一週間客車の一列車もモスコーに入らず結局客車の休み損と云ふ氣の毒な目に逢つた其處で更に二週間客車運轉を中止したが二度目の成績も思はしくなかつた

悼森安崖城子之母堂

聞われぬまで行く雁に目を閉つ 黄丘
こともへに王三昧や春の雨 魚骨
如是我聞極樂はそれ春の月 梅子
添夕をしるき白き哉 雄川
花を見ば何急ぐかな老の人 白紅
淡雪の消ね往く樣や無常觀 無佛
春雁騒ぐ夜のおさぬすみ 坡柳
春寒し御慈みを偲ぶ君 静軒
蟾蜍ざ伸びし日ねもすの雨也 不考阿
釣瓶によくきしる春を降りぬ 句不
博士に彼岸のよい鐘が鳴れ 浮岩樓
凧の糸切れし時の空なりし仰ぐ 烏堂
梅二月銀鎌に光り鈍し 目沙
泣む鉦に更くる通夜の春寒し 虎耳

京城神社句録（第一回）

積荷終へて解纜く閑かな船 麗青丘
岩を裂く音山に湧く麗かな 同
烏飛べば光の如し潮うらゝ 同
麗かに剃毛鳴らし擾く馬丁哉 同
麗かや隠湯の後を遊ぶ濱 桜黄子
麗かや狗呼ぶ鶏も來る山居 同
麗かや一字青いさ干す傘屋 松亭
釣瓶落ちて踊る井水や麗らく 夢骨
麗かや藁有り丈けを織る筵 竹水
扮荷直ぐ牛に付け居る浜うらゝかな 浩一郎
教師閑みて生徒輪になる麗かに 山民
ぶらゝこに教師もまじるうらゝかな 耕伯
陽を負うて松影伸びし塀麗ら 九鼎
次回四月二日仁川方面へ吟行の事 田打夫

新刊紹介

▲特許誌新(創刊號) 日本及米國特許辨理士伊東栄氏を顧問とせる醫明雜誌にして大倉陸谷兩男利根川工學博士其他の特許に關する記事最新特許品の紹介を收む(六錢東京市麴町區三番町六一其社)

▲學生(試驗準備號) 本號には高等農林、高商、高工、兵學、機關、經理、商船其他諸學校教授が各其の校の入學試驗に就て受驗者の必誦すべき事項に就て執筆せり(二十錢東京市神田區富山房)

▲日本魂(三月號) 皇室中心主義を標榜し克忠克孝の日本魂主義を鼓吹し以て上下腐敗せる民心の救濟に努力せるもの健實なる雜誌として推薦す(二十錢東京市京橋區三十間堀三の七其社)

▲文章俱樂部(三月號) 金子薫園、大町桂月、吉井勇、平井晩村其他現代文壇流行兒の文章に關する各種の記事其他を收む(十錢東京市牛込區矢來町中の丸新潮社)

▲子供と科學(創刊號) 小學四、五年程度以上の少年少女科學の趣味及び原理を了解せしめん爲めに生れたる月刊雜誌(五錢東京府北豐多摩郡中野町一六二九其社)

▲ラ、レビユー(創刊號) 第一高等學校講師ジュアス氏及び荒川金之助兩氏擔任の下に編輯せる月刊佛蘭西語雜誌也(十五錢東京市麴町區有樂町一の十佛文社)

宮內省御用・皇后宮職・各宮家御用

日本人の肌に適するやう多年研究の結果發見した本舗獨特の洗粉

レート洗粉(あらひこ)

清潔(せいけつ)美容(びよう)を兼ね 白(しろ)く艶(つや)を增す

東京 平尾賛平

帝國製麻株式會社製品 東洋木材防腐株式會社製品
朝鮮特約販賣店 京城府龍山元町三丁目五十七番地 村松武八商店 電話二六番
營業種目 麻、綿、ズック、ダック類販賣 和洋麻綿毛織物及製作品、鐵道貨車雨覆請負 天幕、雨覆製作請負、並にズック製作品一式
特許品(木材防腐劑) 東洋木材防腐株式會社製 クレオソリーム クレオソート

蘇峰 德富猪一郎著 縮刷 時務一家言 (定價六十錢 郵稅六錢)

『時務一家言』は著者が思想系統の大綱を提げ、所謂る其の輪廓を描きたる者にして、內治、外交、社會、經濟、軍事、教育等あらゆる方面の問題に關著し、後來の各種述作、一として此に胚胎せざるは莫く、之を譬へば、本書は宛も法學博學者の通論に於ける『世界の變局』や『大正政局史論』や『大正の青年と帝國の前途』の如く、皆其の各論と見るべし。〔以下判讀困難〕
發行所 東京市京橋區日吉町 民友社 振替口座一三一〇〇番
賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番
大取次 大阪屋號 日韓書房 巖松堂 各地支局書肆

天覽台覽

イゲダ小兒病內科醫院 池田季雄 京城三越吳服店前(入る旭町四丁目) 電話(醫院一三四五 自宅八八〇番)

比較は最良の撰擇法なり!! サクラ正宗 サクラ正宗
京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話四一八番 四五四番 九四番 振替京城五七番

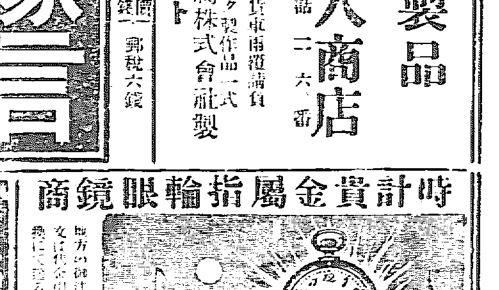
外科 一般花柳病科 內科 一般皮膚病科 普通及隔離病室完備 診察夜九時迄 島崎病院 京城旭町一丁目(本通り左に入る) 電話二七三六番

醫化學諸器械 仁川本町 北島藥店 京城本町 永樂町角 北島藥店京城支店 電話三三四・振替京城六七番 電話七六一番

(K) 藥種賣藥卸商

眼科專門 入院隨意 京城明治町東拓橫(電話二〇四四番) 江頭眼科醫院 日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

時計貴金屬指輪眼鏡商 京城本町二丁目 三浦天龍堂 電話一〇二〇番 振替京城三〇四番



最新刊
戰爭物語 新田義助 一、五〇
戰時の人生觀 二、〇〇
戰時の商業 一、二〇
藝術教授の實際 七五
思師乃木院長 八五
大正六年教育年鑑 四八
女子文章拾式ケ月 七五
公式應用和文英譯 一、〇〇
新らしい模範生活法 九五
美味しく手早く出來るお餅の作り方 五〇
トルストイ傳 七五
すぐ習へる正式珠算の彈き方 五〇
日用文鑑 五〇
新少年文集 二五
變裝浮世風呂 四〇
岩見重太郎 三〇
基本練習用 譜觀かゞ帖 四〇
大阪屋號書店

大邱浦項間自動車時間 大塚農場自動車所 大邱出張部

日本郵船出帆 仁川 相模丸 三河丸 大連行・天津行
尼崎汽船仁川出帆 群山木浦、釜山、下關、神阪行 高杉回漕部
汽船釜山出帆廣告 大池回漕部

大阪商船仁川出帆
朝鮮郵船出帆 京城取次店
伏見丸 三國共同汽船仁川出帆 野口商會
御注意 切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 內國通運會社京城支店

大阪三品相場 大阪株式相場 ◎蘇島の火災